

## PRIMERGY

PRIMERGY スイッチブレード  
(10Gbps 18/8+2)  
メッセージ集  
(PY-SWB105)

<b>第1章 システムログ情報一覧</b>	9
<b>1.1 システムのメッセージ</b>	9
<b>1.1.1. システム起動</b>	9
<b>1.2 構成定義矛盾のメッセージ</b>	9
<b>1.2.1. ether type linkaggregation</b>	9
<b>1.2.2. ether type mirror</b>	10
<b>1.2.3. ether type backup, backup, linkaggregation</b>	10
<b>1.2.4. ether qos mode(wrr, wdrr), ratecontrol</b>	11
<b>1.2.5. ether vlan</b>	11
<b>1.2.6. vlan protocol</b>	12
<b>1.2.7. vlan forward</b>	13
<b>1.2.8. lan vlan</b>	13
<b>1.2.9. ether stp</b>	13
<b>1.2.10. lacp bpdu</b>	14
<b>1.2.11. IP アドレスの重複エラー</b>	14
<b>1.2.12. スタティック経路の ECMP 不可</b>	14
<b>1.2.13. スイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバー</b>	15
<b>1.2.14. 割り当てポート未設定</b>	17
<b>1.2.15. 不当な SNMP エージェントアドレスの設定</b>	18
<b>1.2.16. STP(最大中継時間と最大有効時間の依存関係異常)</b>	18
<b>1.2.17. STP(Hello メッセージ送信間隔と最大有効時間の依存関係異常)</b>	18
<b>1.2.18. STP(ポートバージョン定義矛盾)</b>	18
<b>1.2.19. STP(インスタンス定義矛盾)</b>	19
<b>1.2.20. STP(BPDU 転送モード定義矛盾)</b>	19
<b>1.2.21. stp domain</b>	19
<b>1.2.22. IEEE802.1X 認証(AAA グループ ID 定義異常)</b>	19
<b>1.2.23. IEEE802.1X 認証(VLAN 定義)</b>	19
<b>1.2.24. IEEE802.1X 認証(リンクアグリゲーション)</b>	20
<b>1.2.25. IEEE802.1x 認証(IEEE802.1q トンネリング機能との競合)</b>	20
<b>1.2.26. EAPOL 転送モード設定異常</b>	20
<b>1.2.27. ACL(VLAN 異常)</b>	20
<b>1.2.28. ACL(IP を無視)</b>	21
<b>1.2.29. ACL(TCP を無視)</b>	21
<b>1.2.30. ACL(UDP を無視)</b>	21
<b>1.2.31. ACL(ICMP を無視)</b>	21
<b>1.2.32. ACL(定義存在せず)</b>	22
<b>1.2.33. ACL(定義無効)</b>	22
<b>1.2.34. ether L3 監視(定義矛盾)</b>	22
<b>1.2.35. リンクダウンリレー機能(定義矛盾)</b>	23
<b>1.2.36. IPv6 DHCP 関連の定義矛盾</b>	23
<b>1.2.37. RMON 関係の定義矛盾</b>	24
<b>1.2.38. CEE(定義矛盾)</b>	24
<b>1.2.39. CEE(出力レート制御異常)</b>	26

1.2.40.	CEE(IEEE802.1Q トンネリング異常) .....	26
1.2.41.	リフレクティブリレー(STP 定義異常) .....	26
1.2.42.	リフレクティブリレー(定義矛盾) .....	27
1.2.43.	ether ratecontrol .....	27
1.3	ルーティングマネージャのメッセージ(IPv6) .....	27
1.3.1.	IPv6 プレフィックスの割り当て .....	27
1.3.2.	IPv6 プレフィックスの重複 .....	27
1.4	RA のメッセージ(IPv6) .....	28
1.4.1.	デフォルトルータリストオーバフロー .....	28
1.4.2.	プレフィックスリストオーバフロー .....	28
1.5	通信関連のメッセージ .....	28
1.5.1.	物理ポートのリンクアップ .....	28
1.5.2.	物理ポートのリンクダウン .....	28
1.5.3.	物理ポートの閉塞状態への移行 .....	29
1.5.4.	リンクアグリゲーションポートのリンクアップ .....	29
1.5.5.	リンクアグリゲーションポートのリンクダウン .....	29
1.5.6.	論理ポートのリンクアップ .....	29
1.5.7.	論理ポートのリンクダウン .....	30
1.5.8.	バックアップポートの状態遷移 .....	30
1.5.9.	LACP リンクアグリゲーションポート送受信開始 .....	30
1.5.10.	LACP リンクアグリゲーションポート送受信停止 .....	31
1.5.11.	自動復旧停止機能による閉塞 .....	31
1.5.12.	リンクダウンリレー機能による閉塞 .....	31
1.5.13.	IPv6 アドレス重複検出 .....	32
1.5.14.	リダイレクト経路数超過 .....	32
1.5.15.	SFP+ モジュールの取り付け .....	33
1.5.16.	SFP+ モジュールの取り外し .....	33
1.5.17.	e-Keying による物理ポートの有効化 .....	33
1.5.18.	e-Keying による物理ポートの無効化 .....	33
1.6	フィルタ・QoS 関連のメッセージ .....	34
1.6.1.	スイッチドライバへの設定失敗 .....	34
1.6.2.	出力キュー未割り当て .....	34
1.7	セキュリティメッセージ .....	35
1.7.1.	アプリケーションフィルタによるパケット破棄 .....	35
1.8	コンソールのメッセージ .....	35
1.8.1.	ログイン成功 .....	35
1.8.2.	ログイン失敗(認証エラー) .....	35
1.8.3.	ログイン終了 .....	36
1.9	telnet デーモンのメッセージ .....	36
1.9.1.	ログイン成功 .....	36

1.9.2.	ログイン失敗(認証エラー) .....	37
1.9.3.	ログイン終了 .....	37
1.10	ftp デーモンのメッセージ .....	37
1.10.1.	ログイン成功 .....	37
1.10.2.	ログイン失敗(認証エラー) .....	38
1.10.3.	ファイル蓄積完了 .....	38
1.10.4.	ファイル回収完了 .....	38
1.10.5.	ログイン終了 .....	38
1.11	ssh デーモンのメッセージ .....	39
1.11.1.	ssh ホスト認証鍵生成開始 .....	39
1.11.2.	ssh ホスト認証鍵生成完了 .....	39
1.11.3.	ログイン失敗(認証エラー) .....	39
1.12	ssh ログインデーモンのメッセージ .....	40
1.12.1.	ログイン成功 .....	40
1.12.2.	ログイン失敗(認証エラー) .....	40
1.12.3.	ログイン終了 .....	40
1.13	sftp デーモンのメッセージ .....	41
1.13.1.	ログイン成功 .....	41
1.13.2.	ログイン失敗(認証エラー) .....	41
1.13.3.	ファイル蓄積完了 .....	41
1.13.4.	ファイル回収完了 .....	42
1.13.5.	ログイン終了 .....	42
1.14	http のメッセージ .....	42
1.14.1.	ログイン成功 .....	42
1.14.2.	ログイン失敗(認証エラー) .....	43
1.14.3.	ログイン終了 .....	43
1.14.4.	SSL 接続失敗 .....	43
1.15	enable のメッセージ .....	44
1.15.1.	enable 成功 .....	44
1.15.2.	enable 失敗(認証エラー) .....	44
1.15.3.	enable 終了 .....	45
1.16	SNMP のメッセージ .....	45
1.16.1.	SNMP 認証失敗 .....	45
1.17	DHCP クライアントのメッセージ .....	45
1.17.1.	IP アドレス獲得成功 .....	45
1.17.2.	リース更新成功 .....	46
1.17.3.	リース更新失敗 1 .....	46
1.17.4.	リース更新失敗 2 .....	46
1.17.5.	リース期間満了 .....	46
1.17.6.	IP アドレスの割り当て .....	47

1.17.7.	IP アドレスの重複.....	47
1.17.8.	デフォルトスタティック経路の重複.....	47
1.17.9.	スタティックエントリ数オーバフロー .....	47
1.18	ブリッジ／STP のメッセージ .....	48
1.18.1.	異常 BPDU フレーム受信.....	48
1.18.2.	無効 BPDU フレーム受信.....	48
1.18.3.	ポート情報作成失敗(内部情報作成時) .....	48
1.18.4.	ポート情報作成異常(インスタンス情報追加時).....	48
1.18.5.	インスタンス情報への VLAN 追加異常 .....	49
1.18.6.	BPDU 転送モード設定異常.....	49
1.18.7.	定義反映異常(STP 動作モード).....	49
1.18.8.	定義反映異常(stp age) .....	49
1.18.9.	定義反映異常(stp delay).....	49
1.18.10.	定義反映異常(stp hello) .....	50
1.18.11.	定義反映異常(stp domain priority) .....	50
1.18.12.	定義反映異常(stp config_id) .....	50
1.18.13.	定義反映異常(stp max-hops) .....	50
1.18.14.	定義反映異常(ether stp) .....	51
1.18.15.	内部通信ソケット異常.....	51
1.18.16.	構成定義展開異常.....	51
1.18.17.	STP ポート情報異常.....	52
1.18.18.	未サポートメッセージ受信 .....	52
1.18.19.	STP 内部情報領域獲得異常 .....	52
1.18.20.	トポジチエンジ検出.....	52
1.18.21.	ルートブリッジ .....	52
1.18.22.	インスタンスのトポジチエンジ検出 .....	53
1.18.23.	インスタンスのルートブリッジ .....	53
1.18.24.	トポジチエンジ検出ポート情報.....	53
1.19	ブロードキャスト／マルチキャストストーム制御のメッセージ .....	53
1.19.1.	異常検出メッセージ .....	53
1.19.2.	復旧検出メッセージ .....	54
1.20	LLDP 関連のメッセージ .....	54
1.20.1.	ether llpd mode .....	54
1.20.2.	送信 LLDPDU のオーバフロー .....	54
1.21	DCBX のメッセージ .....	54
1.21.1.	DCBX control misc error .....	54
1.21.2.	DCBX feature misc error .....	55
1.21.3.	DCBX multiple peers .....	55
1.21.4.	DCBX LLDP TX disabled .....	55
1.21.5.	DCBX LLDP RX disabled .....	55
1.21.6.	DCBX duplicate control TLV .....	55
1.21.7.	DCBX duplicate feature TLV.....	56

1.21.8.	DCBX not supported feature .....	56
1.21.9.	DCBX no response .....	56
1.21.10.	DCBX peer config mismatch.....	56
1.21.11.	DCBX misc error.....	56
1.22	IEEE802.1Q トンネリングのメッセージ.....	57
1.22.1.	ether dot1qtunnel use on.....	57
1.22.2.	IEEE802.1q トンネリング(ミラーリング機能との競合)	57
1.23	認証関連のメッセージ .....	57
1.23.1.	VLAN 登録失敗 .....	57
1.23.2.	最大認証端末数の超過 .....	58
1.24	IEEE802.1X 認証関連のメッセージ.....	58
1.24.1.	IEEE802.1X 認証初期化失敗.....	58
1.24.2.	認証成功 .....	59
1.24.3.	認証失敗 .....	59
1.24.4.	ユーザログオフ .....	59
1.24.5.	ユーザの強制ログオフ .....	59
1.24.6.	VLAN 登録失敗 .....	60
1.24.7.	メモリ不足による課金開始または課金終了の失敗 .....	60
1.24.8.	メモリ不足による認証失敗 .....	60
1.24.9.	認証サーバの通知メッセージ異常 .....	61
1.24.10.	VLAN 情報なしによるデフォルト VLAN への割り当て .....	61
1.24.11.	認証サーバからの通知情報異常によるデフォルト VLAN への割り当て .....	61
1.24.12.	認証再試行 .....	61
1.24.13.	最大 ID 長オーバ .....	62
1.24.14.	収容サブリカント数オーバ .....	62
1.25	ether L3 監視機能のメッセージ .....	62
1.25.1.	ether L3 監視(異常検出) .....	62
1.26	IGMP スヌープ .....	63
1.26.1.	マルチキャストエントリ登録失敗 .....	63
1.26.2.	マルチキャストエントリオーバフロー .....	63
1.27	MLD スヌープ .....	63
1.27.1.	マルチキャストエントリ登録失敗 .....	63
1.27.2.	マルチキャストエントリオーバフロー .....	63
1.28	AAA/RADIUS のメッセージ .....	64
1.28.1.	RADIUS アカウンティング情報の表示 .....	64
1.28.2.	RADIUS 認証サーバ未応答 .....	64
1.28.3.	RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング開始時) .....	64
1.28.4.	RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング終了時) .....	65
1.28.5.	RADIUS 認証同時要求数オーバ .....	65
1.28.6.	RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ(アカウンティング開始時) .....	65
1.28.7.	RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ(アカウンティング終了時) .....	65

1.28.8.	RADIUS 認証構成定義無効 .....	66
1.28.9.	RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング開始時) .....	66
1.28.10.	RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング終了時) .....	66
1.28.11.	RADIUS 認証メモリ枯渢 .....	66
1.28.12.	RADIUS アカウンティングメモリ枯渢(アカウンティング開始時) .....	67
1.28.13.	RADIUS アカウンティングメモリ枯渢(アカウンティング終了時) .....	67
1.28.14.	RADIUS 認証共有鍵不一致 .....	67
1.28.15.	RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング開始時) .....	67
1.28.16.	RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング終了時) .....	68
1.28.17.	ローカル認証 DB アカウンティング情報の表示 .....	68
1.28.18.	Access-Challenge の受信 .....	68
1.28.19.	Message-Authenticator 不適性 .....	68
1.28.20.	EAP-Message の破棄(Message-Authenticator 未添付) .....	69
1.28.21.	アトリビュート作成失敗(送信バッファオーバーフロー) .....	69
1.28.22.	認証処理失敗(メモリ枯渢) .....	69
1.28.23.	未サポート EAP オプション受信 .....	69
1.28.24.	認証アルゴリズム不一致 .....	70
1.28.25.	未サポートのパケット受信 .....	70
1.28.26.	パケットシーケンスエラー検出 .....	70
1.28.27.	メモリ枯渢による認証失敗 .....	70
1.28.28.	RADIUS 認証取り消し .....	70
1.28.29.	RADIUS 認証サーバダウソ .....	71
1.28.30.	RADIUS 認証サーバ復旧 .....	71
1.28.31.	RADIUS アカウンティングサーバダウソ .....	71
1.28.32.	RADIUS アカウンティングサーバ復旧 .....	71
1.28.33.	アクセスユーザのゲストユーザとしての受け入れ .....	72
1.28.34.	サーバダウソ時認証成功 .....	72
1.29	AAA/TACACS+のメッセージ .....	72
1.29.1.	TACACS+認証失敗 .....	72
1.29.2.	TACACS+認可失敗 .....	73
1.29.3.	TACACS+認証応答メッセージ .....	73
1.29.4.	TACACS+認証サーバダウソ .....	74
1.29.5.	TACACS+認証サーバ復旧 .....	74
1.29.6.	TACACS+認可サーバダウソ .....	74
1.29.7.	TACACS+認可サーバ復旧 .....	74
1.29.8.	TACACS+認証サーバダウソ時認証成功 .....	74
1.29.9.	TACACS+認可サーバダウソ時認可成功 .....	75
1.30	AAA/LDAP のメッセージ .....	75
1.30.1.	LDAP 認証失敗 .....	75
1.30.2.	LDAP 認証応答メッセージ .....	75

1.30.3.	LDAP 認証サーバダウン	77
1.30.4.	LDAP 認証サーバ復旧	77
1.30.5.	LDAP 認証サーバダウン時認証成功	77
1.31	L2 ネットワークサービスのメッセージ	77
1.31.1.	L2 ネットワークサービス起動異常	77
1.31.2.	カーネル情報設定異常	78
1.31.3.	内部通信ソケット異常(汎用ソケット)	78
1.31.4.	内部通信ソケット受信異常(L2 ソケット異常)	78
1.31.5.	内部通信ソケット受信異常(汎用ソケット異常)	78
1.31.6.	ポート情報通知矛盾検出	79
1.31.7.	受信データ矛盾検出	79
1.31.8.	L2 プロトコル同期異常	79
1.31.9.	ダウン通知同期異常	79
1.31.10.	ポート活性化通知異常	80
1.31.11.	ポート非活性化通知異常	80
1.31.12.	追加処理異常	80
1.31.13.	削除処理異常	81
1.32	構成定義関連のメッセージ	82
1.32.1.	TACACS+/RADIUS 機能の併用無効	82
1.32.2.	TACACS+認証機能無効	82
1.32.3.	TACACS+認証相手側サーバ情報定義無効	82
1.32.4.	TACACS+認可相手側サーバ情報定義無効	83
1.32.5.	LDAP/RADIUS 機能の併用無効	83
1.32.6.	LDAP/TACACS+機能の併用無効	83
1.32.7.	LDAP 認証機能無効	83
1.32.8.	LDAP 認証相手側サーバ情報定義無効	84
1.33	IPv6 DHCP に関するメッセージ	84
1.33.1.	IPv6 アドレス獲得成功	84
1.33.2.	IPv6 アドレスの割り当て	84
1.33.3.	IPv6 アドレスの重複	85
1.33.4.	リース更新失敗 1	85
1.33.5.	リース更新失敗 2	85
1.34	その他のメッセージ	85
1.34.1.	動的定義反映実行	85
1.34.2.	重複メッセージの省略	85
1.34.3.	スケジュール機能による実行	86
1.34.4.	コマンド実行履歴	86

# 第1章 システムログ情報一覧

## 1.1 システムのメッセージ

### 1.1.1. システム起動

**【メッセージ】** init: system startup now.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** システムが起動したことを示します。

## 1.2 構成定義矛盾のメッセージ

### 1.2.1. ether type linkaggregation

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> type linkaggregation <group\_num> definition is invalid.

linkaggregation group has not belong same vlan for all member port.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** すべてのグループポートのVLAN 定義内容が一致していないため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

<group\_num> リンクアグリゲーショングループ番号

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> type linkaggregation <group\_num> definition is invalid. group member port definition of 10 exists.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** グループメンバポート数が最大数(10) を超えて定義されているため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> ether ポート番号

<group\_num> リンクアグリゲーショングループ番号

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> type linkaggregation <group\_num> definition is invalid.

linkaggregation group has not belong same edgerelay reflectiverelay for all member port.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** すべてのグループポートの edgerelay reflectiverelay 定義内容が一致していないため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> ether ポート番号

<group\_num> リンクアグリゲーショングループ番号

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> type linkaggregation <group\_num> definition is invalid.

linkaggregation group has not same speed for all member port.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** すべてのグループポートの speed が一致していないため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> ether ポート番号  
<group\_num> リンクアグリゲーショングループ番号

### 1.2.2. ether type mirror

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> type mirror definition is ignored. ether <mirror\_port> mirror definition exists already.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** すでにミラーリングのターゲットポートが設定されているため、このポートがミラーリングポートに設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号  
<mirror\_port> ミラーのターゲットポート

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> type mirror port definition for source ether <mirror\_port> is ignored.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ミラーのターゲットで指定したポートをソースとして指定することはできません。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号  
<mirror\_port> ミラーのターゲットポート

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> type mirror linkaggregation definition is ignored.  
linkaggregation group <source\_linkaggregation> is not defined.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ソースに指定したリンクアグリゲーショングループが未定義であることを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号  
<source\_linkaggregation> ソースリンクアグリゲーショングループ番号

### 1.2.3. ether type backup, backup, linkaggregation

**【メッセージ】** l2nsm: <port\_type> <num> type backup <group\_num> definition is invalid. <port\_type> <num> <priority> definition exists already.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** すでにバックアップポートのマスタポートまたはバックアップポートが設定されているため、このポートがバックアップポートに設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_type> ポート種別(ether,linkaggregation)  
<num> ポート種別がether の場合はetherポート番号  
ポート種別がlinkaggregationの場合はリンクアグリゲーショングループ番号  
<group\_num> バックアップグループ番号  
<priority> ポートの優先度(master-port,backup-port)

**【メッセージ】** l2nsm: backup <group\_num> definition is invalid. <priority>is not defined.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** バックアップポートのマスターportまたはバックアップポートが未定義であるため、バックアップポートの設定が無効となったことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_num> バックアップグループ番号  
<priority> ポートの優先度(master-port,backup-port)

#### 1.2.4. ether qos mode(wrr, wdrr), ratecontrol

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> ratecontrol definition is ignored. ether <ether\_num> qos mode wrr or wdrr definition exists already.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ratecontrol 設定とqos mode wrr または wdrr設定を併用することはできません。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> qos mode wrr definition is ignored. ether <ether\_num> ratecontrol definition exists already.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** qos mode wrr設定とratecontrol設定を併用することはできません。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> qos mode wdrr definition is ignored. ether <ether\_num> ratecontrol definition exists already.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** qos mode wdrr設定とratecontrol設定を併用することはできません。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

#### 1.2.5. ether vlan

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> vlan untag <vlan\_id> definition is invalid. ether <ether\_num> is tagged definition.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** このether ポートには、同一のVLAN ID がタグありとして設定されているため、タグなしに設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> ether ポート番号  
<vlan\_id> VLAN ID

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> vlan untag <vlan\_id> definition is invalid. untagged port vlan defined already. <untag\_vlan\_id>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** このether ポートには、すでにほかのVLAN ID でタグなしVLAN(untag\_vlan\_id) が定義されているため、(vlan\_id) が設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> ether ポート番号  
<vlan\_id> VLAN ID  
<untag\_vlan\_id> untag 定義されたVLAN ID

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> vlan untag <vlan\_id> definition is invalid. it failed in the protocol definition.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** プロトコルVLAN 条件定義に矛盾が存在したため、(vlan\_id) が設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> ether ポート番号  
<vlan\_id> VLAN ID

### 1.2.6. **vlan protocol**

**【メッセージ】** l2nsm: vlan <vlan\_id> protocol <protocol> definition is invalid. the same protocol has already been defined by vlan <other\_vlan\_id>. l2nsm: vlan <vlan\_id> protocol count <protocol\_num> definition is invalid. the same protocol has already been defined by vlan <other\_vlan\_id>.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 同一のプロトコル条件定義がすでに存在するため、(vlan\_id) が設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <vlan\_id> VLAN ID  
<protocol> プロトコル種別(IPv4,IPv6)  
<protocol\_num> プロトコル定義番号  
<other\_vlan\_id> すでにプロトコル定義済みのVLAN ID

**【メッセージ】** l2nsm: vlan <vlan\_id> protocol count <protocol\_num> definition is invalid. protocol definition of <prt\_max> exists.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ユーザ定義プロトコルが最大数を超えて指定されたため、(vlan\_id) が設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <vlan\_id> VLAN ID  
<protocol\_num> プロトコル定義番号  
<prt\_max> プロトコル定義最大数

### 1.2.7. **vlan forward**

- 【メッセージ】** l2nsm: vlan <vlan\_id> forward <count> definition is invalid. vlan <vlan\_id> forward <count> has same mac address definition exists.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 同一のMACアドレスが指定済みのため、静的アドレス登録が設定されなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <vlan\_id> VLAN ID  
                   <count> 定義番号
- 【メッセージ】** l2nsm: vlan <vlan\_id> forward <count> definition is invalid. ether <ether\_num> port is not defined in vlan <vlan\_id>.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 指定ポートがVLAN エントリされていないため、静的アドレス登録が設定されなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <vlan\_id> VLAN ID  
                   <count> 定義番号  
                   <ether\_num> ether ポート番号

### 1.2.8. **lan vlan**

- 【メッセージ】** l2nsm: lan <lan\_num> vlan <vlan\_id> definition is invalid. vlan <vlan\_id> is not defined.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** LAN に関連付けする指定VLAN が未登録のため、関連付けが設定されなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <lan\_num> lan 番号  
                   <vlan\_id> VLAN ID

### 1.2.9. **ether stp**

- 【メッセージ】** l2nsm: [CONFIG] Spanning Tree and IEEE802.1Q tunneling can't use simultaneously (<port\_type> <num>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 同一ポートでSTPとIEEE802.1qトンネリングが同時に設定されているため、該当ポートもしくは該当ポートが所属するリンクアグリゲーショングループに属する全てのポートが無効となったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <port\_type> ポートの種別(ether、linkaggregation) を示します。  
                   <num> ポート種別がether の場合はetherポート番号、ポート種別がlinkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号を示します。

### 1.2.10. lacp bpdu

**【メッセージ】** l2nsm: Cannot set lacp bpdu forwarding mode(linkaggregation is enabled)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** LACP 動作モードが有効なためBPDU 設定モードが設定されなかったことを示します。

### 1.2.11. IP アドレスの重複エラー

**【メッセージ】** enabled: lan <no> has same network/address as oob 0

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** <no>とoob 0 のインターフェースで、ネットワークアドレスが重複していることを示します。

**【パラメタの意味】** <no> lan 定義番号

**【メッセージ】** enabled: <interface> has same ip6 prefix as oob 0

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** <interface>とoob 0のIPv6 プレフィックスが重複したことを示します。

**【パラメタの意味】** <interface> インタフェース名

### 1.2.12. スタティック経路のECMP 不可

**【メッセージ】** nsm: This route cannot be added because the number of ECMP routes has reached maximum. <route> from <protocol>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** イコールコストとなる経路がすでに存在しているため、新たに追加しようとしたスタティック経路を破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】** <route> 破棄した経路情報

<protocol> プロトコル種別

### 1.2.13. スイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバー

**【メッセージ】** <component>: protocol vlan exceeds available hardware filter resources. <definition> is rejected

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 適用要求のあったprotocol vlanフィルタを適用するとスイッチのフィルタ設定上限オーバーとなることを示します。

**【パラメタの意味】** <component> 出力コンポーネント名  
protocol  
<definition> 適用要求のあった protocol vlan 定義  
vlan <vlan\_id> protocol ipv4  
vlan <vlan\_id> protocol ipv6  
vlan <vlan\_id> protocol <count> ethertype <ether\_type>  
<vlan\_id> 適用失敗した VLAN ID  
<count> 適用失敗した定義の優先順位  
<ether\_type> プロトコル定義番号

**【メッセージ】** <component>: acl <acl\_count> exceeds available hardware filter resources. <definition> is rejected

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** スイッチのフィルタ・QoS設定上限をオーバーする為、<definition> に表示されるフィルタ設定以降の優先度の低いフィルタ設定が行われなかったことを示します。フィルタ・QoSコマンド内の優先順位は、以下の表を参考にしてください。

優先順位	設定区分	フィルタ・QoS コマンド	同一コマンド内での優先順位
高 ↑	ether ポート	interface [<switch_identifier>/]<slot>/<port> macfilter	<port> : 小さい > 大きい
	vlan	vlan <vid> macfilter	<vid> : 小さい > 大きい
	lan	lan <number> ip filter	
	ether ポート	interface [<switch_identifier>/]<slot>/<port> qos aclmap	<port> : 小さい > 大きい
	vlan	vlan <vid> qos aclmap	<vid> : 小さい > 大きい
	lan	lan <number> ip dscp	
	ether ポート	interface [<switch_identifier>/]<slot>/<port> ip6filter	<port> : 小さい > 大きい
	vlan	vlan <vid> ip6filter	<vid> : 小さい > 大きい
	lan	lan <number> ip6 filter	
	ether ポート	interface [<switch_identifier>/]<slot>/<port> ip6qos aclmap	<port> : 小さい > 大きい
	vlan	vlan <vid> ip6qos aclmap	<vid> : 小さい > 大きい
低 ↓	lan	lan <number> ip6 dscp	

**【パラメタの意味】** <component>出力コンポーネント名  
enabled  
<definition> 適用要求のあった protocol vlan 定義  
ether <ether\_num> macfilter <count> acl <acl\_count>  
ether <ether\_num> ip6filter <count> acl <acl\_count>  
ether <ether\_num> ip6qos aclmap <count> acl <acl\_count>  
vlan <vlan\_id> macfilter <count> acl <acl\_count>  
lan <number> ip filter <count> acl <acl\_count>  
ether <ether\_num> qos aclmap <count> acl <acl\_count>  
vlan <vlan\_id> qos aclmap <count> acl <acl\_count>  
lan <number> ip dscp <count> acl <acl\_count>

```

vlan <vlan_id> ip6filter <count> acl <acl_count>
lan <number> ip6 filter <count> acl <acl_count>
vlan <vlan_id> ip6qos aclmap <count> acl <acl_count>
lan <number> ip6 dscp <count> acl <acl_count>
<ether_num> 適用失敗した ether ポート番号
<vlan_id> 適用失敗した VLAN ID
<number> 適用失敗した lan 定義
<count> 適用失敗した定義の優先順位
<acl_count> 適用失敗した acl 定義番号

```

### 1.2.14. 割り当てポート未設定

**【メッセージ】** <component>:<definition> invalid. <name> has no port

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】**

- \_ 該当インターフェースにポートが割り当てられていないため、そのインターフェースのIP フィルタまたはDSCP 書き換え定義ができなかったことを示します。
- \_ 該当VLAN にポートが割り当てられていないため、そのVLAN のフィルタまたはQoS 設定ができなかったことを示します。

**【パラメタの意味】**

- <component> 出力コンポーネント名
- \_protocol
- \_enabled
- <definition>\_ 適用要求のあったIP フィルタ・DSCP 書き換え定義
  - lan <no> ip filter
  - lan <no> ip dscp
  - lan <no> ip6 filter
  - lan <no> ip6 dscp
- <no> 適用失敗したlan 定義番号
  - \_ 適用要求のあったフィルタ・QoS 設定
  - vlan <vid> macfilter <count> acl <acl>
  - vlan <vid> qos aclmap <count> acl <acl>
  - vlan <vid> ip6filter <count> acl <acl>
  - vlan <vid> ip6qos aclmap <count> acl <acl>
- <vid> 適用失敗したVLAN ID
- <count> 適用失敗した定義の優先順位
- <count>以降のフィルタ・QoS 定義は適用されません。
- <acl> acl 定義番号
- <name> インタフェース名

### 1.2.15. 不当なSNMP エージェントアドレスの設定

**【メッセージ】** <component>: illegal SNMP agent address

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 自装置のIP アドレスとして割り当てられていないIP アドレスがSNMPエージェントアドレスとして定義されています。そのため、SNMP エージェントおよびTRAP 機能では、自装置のIP アドレスを使用します。SNMP マネージャとは正常に通信できない場合があります。

**【パラメタの意味】** <component> 出力コンポーネント名  
   -\_enabled  
   -\_snmpd

### 1.2.16. STP(最大中継時間と最大有効時間の依存関係異常)

**【メッセージ】** mstpd: Violates Forward delay - Max age relationship  $2^*(\text{delay\_time}) - 1 \geq \text{max\_age}$

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 定義された最大中継遅延時間と最大有効時間の設定秒数が矛盾した設定であることを示します。

( $2^*(\text{delay\_time}) - 1 \geq \text{max\_age}$ でないことを示します)

**【パラメタの意味】** <delay\_time> 定義した最大中継遅延時間  
   <max\_age> 定義した最大有効時間

### 1.2.17. STP(Hello メッセージ送信間隔と最大有効時間の依存関係異常)

**【メッセージ】** mstpd: Violates Hello time - Max age relationship

$2^*(\text{hello}) + 1 \leq \text{max\_age}$

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 定義されたHello メッセージ送信間隔と最大有効時間の設定秒数が矛盾した設定であることを示します。

( $2^*(\text{hello}) + 1 \leq \text{max\_age}$ でないことを示します)

**【パラメタの意味】** <hello> 定義したHello メッセージ送信間隔時間  
   <max\_age> 定義した最大有効時間

### 1.2.18. STP(ポートバージョン定義矛盾)

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Invalid STP version(<version>) for port(<port>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** STP 動作モードとSTP ポートバージョンの設定が矛盾しているため設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <version> 設定しようとしたSTP バージョン  
   <port> 設定しようとしたポート名(ethxx)

### 1.2.19. STP(インスタンス定義矛盾)

- 【メッセージ】** mstpd: [CONFIG] Cannot set instance <instance\_id> for bridge <bridge> (STP mode isn't mstp)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** STP 動作モードがMSTP 以外の場合に1 以上のインスタンス設定がされたため設定されなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <instance\_id> インスタンス番号  
                   <bridge> ブリッジ名

### 1.2.20. STP(BPDUs 転送モード定義矛盾)

- 【メッセージ】** mstpd: [CONFIG] Cannot set bpdu forwarding mode(STP mode isn't disable)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** STP 動作モードが有効なためBPDUs 設定モードが設定されなかったことを示します。

### 1.2.21. stp domain

- 【メッセージ】** mstpd: [CONFIG] Cannot set instance <instance\_id>(<info>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** インスタンス番号で指定されたインスタンス情報の定義反映が異常となったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <instance\_id> 設定しようとしたインスタンス番号  
                   <info> 異常時内部情報

### 1.2.22. IEEE802.1X 認証(AAAグループID 定義異常)

- 【メッセージ】** l2nsm: AAA group ID is not defined [ether <port\_no>]
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** <port\_no>で表示されたポートで、IEEE802.1X 認証が使用するAAA のグループID が未設定であるため、ポートが閉塞されたことを示します。
- 【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号

### 1.2.23. IEEE802.1X 認証(VLAN 定義)

- 【メッセージ】** l2nsm: VLAN and port authentication cannot be defined at same time [ether <port\_no>]
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** IEEE802.1X 認証とVLAN が同時に定義されたため、ポートが閉塞されたことを示します。
- 【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号

### 1.2.24. IEEE802.1X 認証(リンクアグリゲーション)

**【メッセージ】** l2nsm: port authentication cannot be used on trunking port [ether <port\_no>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** リンクアグリゲーションと同時にIEEE802.1X 認証が定義されたため、ポートが閉塞されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号

### 1.2.25. IEEE802.1x 認証(IEEE802.1q トンネリング機能との競合)

**【メッセージ】** l2nsm: IEEE802.1Q tunneling and port authentication cannot be defined at same time [ether <ether\_num>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 同一ポートでIEEE802.1Q トンネリングとIEEE802.1X認証が同時に設定されているため、該当ポートが無効となったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

### 1.2.26. EAPOL 転送モード設定異常

**【メッセージ】** l2nsm: Cannot set eapol forwarding mode(port authentication mode isn't disable)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** IEEE802.1X 認証が有効に設定されているため、EAPOL 転送モード設定がされなかったことを示します。

### 1.2.27. ACL(VLAN 異常)

**【メッセージ】** <thread>:<func> acl <acl\_count> VLAN is invalid

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** <acl\_count>のACL 定義に定義矛盾があり、VLAN に関する定義を無視することを示します。

**【パラメタの意味】** <thread> 定義矛盾を検出したスレッド名  
 <func> 定義矛盾を検出した機能名  
 <acl\_count> 定義矛盾があるACL 番号

### 1.2.28. ACL(IP を無視)

**【メッセージ】** <thread>:<func> acl <acl\_count> ip is invalid

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** <acl\_count>のACL 定義に定義矛盾があり、IP に関する定義を無視することを示します。

**【パラメタの意味】** <thread> 定義矛盾を検出したスレッド名

<func> 定義矛盾を検出した機能名

<acl\_count> 定義矛盾があるACL 番号

### 1.2.29. ACL(TCP を無視)

**【メッセージ】** <thread>:<func> acl <acl\_count> tcp is invalid

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** <acl\_count>のACL 定義に定義矛盾があり、TCPに関する定義を無視することを示します。

**【パラメタの意味】** <thread> 定義矛盾を検出したスレッド名

<func> 定義矛盾を検出した機能名

<acl\_count> 定義矛盾があるACL 番号

### 1.2.30. ACL(UDP を無視)

**【メッセージ】** <thread>:<func> acl <acl\_count> udp is invalid

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** <acl\_count>のACL 定義に定義矛盾があり、UDPに関する定義を無視することを示します。

**【パラメタの意味】** <thread> 定義矛盾を検出したスレッド名

<func> 定義矛盾を検出した機能名

<acl\_count> 定義矛盾があるACL 番号

### 1.2.31. ACL(ICMP を無視)

**【メッセージ】** <thread>:<func> acl <acl\_count> icmp is invalid

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** <acl\_count>のACL 定義に定義矛盾があり、ICMPに関する定義を無視することを示します。

**【パラメタの意味】** <thread> 定義矛盾を検出したスレッド名

<func> 定義矛盾を検出した機能名

<acl\_count> 定義矛盾があるACL 番号

### 1.2.32. ACL(定義存在せず)

**【メッセージ】** <thread>:<func> acl <acl\_count> doesn't exist

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** <acl\_count>のACL が存在せず、このACL番号に関してはすべてのプロトコルで無視することを示します。

**【パラメタの意味】** <thread> 定義矛盾を検出したスレッド名

<func> 定義矛盾を検出した機能名

<acl\_count> 存在しないACL 番号

### 1.2.33. ACL(定義無効)

**【メッセージ】** <thread>:<func> acl <acl\_count> is invalid

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** <acl\_count>での必要な定義がない、または定義矛盾があるためACL が無効であることを示します。

**【パラメタの意味】** <thread> 定義矛盾を検出したスレッド名

<func> 定義矛盾を検出した機能名

<acl\_count> 無効として扱うACL 番号

### 1.2.34. ether L3 監視 (定義矛盾)

**【メッセージ】** l2nsm: <port\_type> <num> icmpwatch address out of interface subnet. <address>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 監視接続先IP アドレスが、インターフェースのサブネット外であることを示します。なお、本メッセージはDHCPクライアント運用時には出力されません。

**【パラメタの意味】** <port\_type> ポートの種別(ether、linkaggregation) を示します。

<num> ポート種別がether の場合はether ポート番号、ポート種別がlinkaggregation の場合はリンクアグリゲーションループ番号を示します。

<address> サブネット外である監視接続先IP アドレスを示します。

**【メッセージ】** l2nsm: <port\_type> <num> icmpwatch address <address>. invalid destination address.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 監視接続先IP アドレスに自装置IP アドレスが設定されていることを示します。なお、本メッセージはDHCPクライアント運用時には出力されません。

**【パラメタの意味】** <port\_type> ポートの種別(ether、linkaggregation) を示します。

<num> ポート種別がether の場合はether ポート番号、ポート種別がlinkaggregation の場合はリンクアグリゲーションループ番号を示します。

<address> 自装置IP アドレスを示します。

<b>【メッセージ】</b>	l2nsm: <port_type> <num> icmpwatch is invalid. IP address is not defined.
<b>【プライオリティ】</b>	LOG_INFO
<b>【意味】</b>	ポートに有効な自装置にIP アドレスが未設定のため、ether L3 監視の設定が無効になったことを示します。なお、本メッセージはDHCPクライアント運用時には出力されません。
<b>【パラメタの意味】</b>	<port_type> ポートの種別(ether、linkaggregation) を示します。 <num> ポート種別がether の場合はether ポート番号、ポート種別がlinkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号を示します。
<b>【メッセージ】</b>	l2nsm: ether <ether_num> icmpwatch is invalid. ether type definition is linkaggregation.
<b>【プライオリティ】</b>	LOG_INFO
<b>【意味】</b>	タイプがリンクアグリゲーションであるetherポートにether icmpwatchの設定を行つたため、Ether icmpwatch が無効となったことを示します。
<b>【パラメタの意味】</b>	<ether_num> ether ポート番号を示します。

### 1.2.35. リンクダウンリレー機能(定義矛盾)

<b>【メッセージ】</b>	l2nsm: ether <ether_num> downrelay is ignored. because this port type is linkaggregation <group>, and downrelay definition is exists.
<b>【プライオリティ】</b>	LOG_INFO
<b>【意味】</b>	リンクアグリゲーションにリンクダウンリレー機能が定義されているリンクアグリゲーションポートに対して、etherポートにもリンクダウンリレー機能が設定されているため、etherポートのリンクダウンリレー機能が無効になったことを示します。
<b>【パラメタの意味】</b>	<ether_num> ether ポート番号 <group_num> リンクアグリゲーショングループ番号

### 1.2.36. IPv6 DHCP関連の定義矛盾

<b>【メッセージ】</b>	dhcp6cd: <interface> is not initialized. <reason>
<b>【プライオリティ】</b>	LOG_INFO
<b>【意味】</b>	IPv6 DHCPクライアントに必要な情報の設定不足、または設定不正のため、利用できないことを示します。
<b>【パラメタの意味】</b>	<interface> インタフェース名 <reason> 理由 there is no option to request. IPv6 DHCPサーバに要求するオプションがない

### 1.2.37. RMON関係の定義矛盾

- 【メッセージ】** enabled: rmon alarm <index> definition is invalid. rmon alarm <index> sampling is not defined.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** rmon alarm sampling が設定されていなかったため、RMONアラームの設定が無効になったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <index> RMONアラーム定義番号

### 1.2.38. CEE(定義矛盾)

- 【メッセージ】** l2nsm: <port\_type> <num> cee definition is ignored. the total weight exceeded 100.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** weight 値の合計が 100 を超過したため、CEE 設定が無効となったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <port\_type> ポート種別(ether, linkaggregation)  
 <num> ポート種別が ether の場合は ether ポート番号、ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号
- 【メッセージ】** l2nsm: cee definition is ignored. the priority mapping is not correctly set.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 指定したプライオリティグループすべてがプライオリティマップに設定されていない、または指定していないプライオリティグループがプライオリティマップに設定されているため、CEE 設定が無効となったことを示します。
- 【パラメタの意味】** なし
- 【メッセージ】** l2nsm: <port\_type> <num> cee priority group <pg> weight definition is ignored.  
 <port\_type> <num> cee priority group <pg> is not defined.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 指定されたプライオリティグループが未設定のため、帯域幅の指定が無効になったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <port\_type> ポート種別(ether,linkaggregation)  
 <num> ポート種別が ether の場合は ether ポート番号、ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号  
 <pg> プライオリティグループ番号

**【メッセージ】** l2nsm: <port\_type> <num> cee priority group <pg> use on definition is ignored.  
 <port\_type> <num> cee priority group <pg> weight is not defined.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 有効なプライオリティグループに対し、帯域幅が設定されていないため、CEE 設定が無効になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_type> ポート種別(ether,linkaggregation)  
 <num> ポート種別が ether の場合は ether ポート番号、ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号  
 <pg> プライオリティグループ番号

**【メッセージ】** l2nsm: <port\_type> <num> cee priority group <pg> pfc on definition is ignored.  
 <port\_type> <num> cee priority group <pg> is not defined.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 指定されたプライオリティグループが未設定のため、PFC の指定が無効になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_type> ポート種別(ether, linkaggregation)  
 <num> ポート種別が ether の場合は ether ポート番号、ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号

**【メッセージ】** l2nsm: <port\_type> <num> cee definition is ignored. because the number of maximum PFC was exceeded.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 有効なプライオリティグループに対しての PFC 有効指定が最大数を超過したため、CEE 設定が無効となったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_type> ポート種別(ether, linkaggregation)  
 <num> ポート種別が ether の場合は ether ポート番号、ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号

**【メッセージ】** <component>: <definition> cannot be set to the CEE port.<definition> is rejected.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 指定ポートは CEE 設定がされているため、aclmap queue または、aclmap changeQueue 設定がされなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <component> コンポーネント名  
 enabled  
 <definition> 適用要求のあった QoS 定義  
 ether <ether\_num> qos aclmap <count> queue  
 ether <ether\_num> qos aclmap <count> acl <acl\_count> changeQueue  
 ether <ether\_num> ip6qos aclmap <count> queue  
 ether <ether\_num> ip6qos aclmap <count> acl <acl\_count> changeQueue  
 <ether\_num> 適用失敗した ether ポート番号  
 <count> 適用失敗した定義の優先順位  
 <acl\_count> 適用失敗した acl 定義番号

<b>【メッセージ】</b>	I2nsm: [<port_type> <num>] cee use on definition is ignored. [<port_type> <num>] cee priority group use is not defined.
<b>【プライオリティ】</b>	LOG_INFO
<b>【意味】</b>	有効なプライオリティグループが定義されていないため、CEE 設定が無効になったことを示します。
<b>【パラメタの意味】</b>	<port_type> ポート種別(ether,linkaggregation) <num> ポート種別が ether の場合は ether ポート番号、ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号 パラメタ非表示時 "cee priority group use" コマンド未設定

### 1.2.39. CEE(出力レート制御異常)

<b>【メッセージ】</b>	I2nsm: CEE and ratecontrol cannot be defined at same time [ether <ether_num>]
<b>【プライオリティ】</b>	LOG_INFO
<b>【意味】</b>	同一ポートで CEE 設定と出力レート制御設定が同時に設定されているため、該当ポートが無効となったことを示します。
<b>【パラメタの意味】</b>	<ether_num> ether ポート番号

### 1.2.40. CEE(IEEE802.1Q トンネリング異常)

<b>【メッセージ】</b>	I2nsm: IEEE802.1Q tunneling and CEE cannot be defined at same time [ether <ether_num>]
<b>【プライオリティ】</b>	LOG_INFO
<b>【意味】</b>	同一ポートで IEEE802.1Q トンネリングと CEE が同時に設定されているため、該当ポートが無効となったことを示します。
<b>【パラメタの意味】</b>	<ether_num> ether ポート番号

### 1.2.41. リフレクティブリレー(STP定義異常)

<b>【メッセージ】</b>	I2nsm: Spanning Tree and ReflectiveRelay cannot be defined at same time [<port_type> <num>]
<b>【プライオリティ】</b>	LOG_INFO
<b>【意味】</b>	同一ポートで STP と ReflectiveRelay が同時に設定されているため、該当ポートもしくは該当ポートが所属するリンクアグリゲーショングループに属する全てのポートが無効となったことを示します。
<b>【パラメタの意味】</b>	<port_type> ポート種別(ether,linkaggregation) <num> ポート種別が ether の場合は ether ポート番号、ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号

### 1.2.42. リフレクティブリレー(定義矛盾)

- 【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> edgerelay reflectiverelay enable definition is ignored. uplink port cannot be used as reflective relay.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** アップリンクポートはリフレクティブリレーを使用できないため、リフレクティブリレーが設定されなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <ether\_num> ether ポート番号

### 1.2.43. ether ratecontrol

- 【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> ratecontrol definition is invalid. value is over the range of 10 giga port.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 10Gポートに対して 10Gbps 以上を設定したため、出力レート制御が設定されなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <ether\_num> ether ポート番号

## 1.3 ルーティングマネージャのメッセージ(IPv6)

### 1.3.1. IPv6 プレフィックスの割り当て

- 【メッセージ】** nsm: <prefix>/<prefixlen> was assigned to <interface> from <protocol>.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RA で獲得したIPv6 プレフィックスをインターフェースに割り当てたことを示します。
- 【パラメタの意味】** <prefix>/<prefixlen> IPv6 プレフィックスとプレフィックス長  
 <interface> インタフェース名  
 <protocol> プロトコル種別

### 1.3.2. IPv6 プレフィックスの重複

- 【メッセージ】** nsm: <prefix/prefixlen> cannot be assigned to <interface> from <protocol>, because duplicated.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RA で獲得したIPv6 プレフィックスが重複しているため、インターフェースに割り当てることができなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <prefix>/<prefixlen> IPv6 プレフィックスとプレフィックス長  
 <interface> インタフェース名  
 <protocol> プロトコル種別

## 1.4 RA のメッセージ(IPv6)

### 1.4.1. デフォルトルータリストオーバフロー

**【メッセージ】** rtsold: overflow: default router list on <interface> from <src-addr>  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** インタフェースで受信可能なデフォルトルータの数を超えてRA を受信したため、デフォルトルータリストのエントリを作成しなかったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <interface> RA パケットを受信したインターフェース名  
 <src-addr> RA パケットの送信元IP アドレス

### 1.4.2. プレフィックスリストオーバフロー

**【メッセージ】** rtsold: overflow: prefix <prefix>/<prefixlen> on <interface> from <srcaddr>  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** インタフェースで設定可能なグローバルアドレス数を超えて、RA のプレフィックス情報を受信したため、プレフィックスリストのエントリを作成しなかったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <prefix>/<prefixlen> prefix 情報オプションのIPv6プレフィックスとプレフィックス長  
 <interface> RA パケットを受信したインターフェース名  
 <src-addr> RA パケットの送信元IP アドレス

## 1.5 通信関連のメッセージ

### 1.5.1. 物理ポートのリンクアップ

**【メッセージ】** protocol: ether <port\_num> link up  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** 物理ポートがリンクアップしたことを示します。  
**【パラメタの意味】** <port\_num> ether ポート番号

### 1.5.2. 物理ポートのリンクダウン

**【メッセージ】** protocol: ether <port\_num> link down  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** 物理ポートがリンクダウンしたことを示します。  
**【パラメタの意味】** <port\_num> ether ポート番号

### 1.5.3. 物理ポートの閉塞状態への移行

**【メッセージ】** protocol: ether <port\_num> is force down

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** オペレータ指示によって、物理ポートを閉塞状態に移行したことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_num> ether ポート番号

### 1.5.4. リンクアグリゲーションポートのリンクアップ

**【メッセージ】** protocol: linkaggregation <port\_num> link up

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** リンクアグリゲーションポートがリンクアップしたことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_num> linkaggregation 定義番号

### 1.5.5. リンクアグリゲーションポートのリンクダウン

**【メッセージ】** protocol: linkaggregation <port\_num> link down

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** リンクアグリゲーションポートがリンクダウンしたことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_num> linkaggregation 定義番号

### 1.5.6. 論理ポートのリンクアップ

**【メッセージ】** <component>: lan <port\_num> link up

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 論理ポートがリンクアップしたことを示します。

**【パラメタの意味】** <component>出力コンポーネント名

protocol

<port\_num> lan 定義番号

**【メッセージ】** protocol: oob 0 link up

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** MMB接続ポートがリンクアップしたことを示します。

### 1.5.7. 論理ポートのリンクダウン

**【メッセージ】** <component>: lan <port\_num> link down

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 論理ポートがリンクダウンしたことを示します。

**【パラメタの意味】** <component>出力コンポーネント名  
protocol  
<port\_num> lan 定義番号

**【メッセージ】** protocol: oob 0 link down

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** MMB接続ポートがリンクダウンしたことを示します。

### 1.5.8. バックアップポートの状態遷移

**【メッセージ】** protocol: backup <group\_num> <priority> is <status> (<port\_type> <num>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** バックアップポートが状態遷移したことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_num> バックアップグループ番号  
<priority> ポートの優先度  
master-port:マスターポート  
backup-port:バックアップポート  
<status> 遷移した状態  
up :稼動状態  
standby: 待機状態  
down :停止状態  
<port\_type> ポート種別(ether,linkaggregation)  
<num> ポート種別がether の場合はether ポート番号、ポート種別がlinkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号

### 1.5.9. LACP リンクアグリゲーションポート送受信開始

**【メッセージ】** l2nsm: lacp linkaggregation <group> ether <port\_no> collecting/distributing start

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** LACP によるリンクアグリゲーションポートが送受信状態となったことを示します。

**【パラメタの意味】** <group> linkaggregation 定義番号  
<port\_no> ポート番号(1~) を示します。

### 1.5.10. LACP リンクアグリゲーションポート送受信停止

- 【メッセージ】** l2nsm: lacp linkaggregation <group> ether <port\_no> collecting/distributing stop  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** LACP によるリンクアグリゲーションポートが送受信停止状態となったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <group> linkaggregation 定義番号  
 <port\_no> ポート番号(1～) を示します。

### 1.5.11. 自動復旧停止機能による閉塞

- 【メッセージ】** protocol: link down limit is over <count>. ether <port> is force down  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** 自動復旧停止機能により、リンクダウン回数の上限値に達したために物理ポートを閉塞状態にしたことを示します。  
**【パラメタの意味】** <count> 検出したリンクダウン回数  
 <port> 閉塞状態となったether ポート番号

### 1.5.12. リンクダウンリレー機能による閉塞

- 【メッセージ】** protocol: link down relay occurred from <port>. ether <port\_list> is force down  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** リンクダウンリレー機能により、物理ポートを閉塞状態にしたことを示します。  
**【パラメタの意味】** <port> リンクダウンを検出したポート  
 <port\_list> リンクダウンリレー機能により閉塞状態となったether ポート番号リスト
- 【メッセージ】** protocol: link up relay occurred from <port>. ether <port\_list> is force up  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** リンクダウンリレー閉塞解除機能により、物理ポートの閉塞状態を解除したことを示します。  
**【パラメタの意味】** <port> リンクアップを検出したポート  
 <port\_list> リンクダウンリレー閉塞解除機能により閉塞状態を解除したether ポート番号リスト
- 【メッセージ】** protocol: link down relay occurred from linkaggregation <group>. ether <port\_list> is force down  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** リンクダウンリレー機能により、物理ポートを閉塞状態にしたことを示します。  
**【パラメタの意味】** <group> リンクダウンを検出したlinkaggregation 定義番号  
 <port\_list> リンクダウンリレー機能により閉塞状態となったether ポート番号リスト

**【メッセージ】** protocol: link up relay occurred from linkaggregation <group>. ether <port\_list> is force up

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** リンクダウンリレー閉塞解除機能により、物理ポートの閉塞状態を解除したことを示します。

**【パラメタの意味】** <group> リンクアップを検出したlinkaggregation 定義番号

<port\_list> リンクダウンリレー閉塞解除機能により閉塞状態を解除したetherポート番号リスト

**【メッセージ】** protocol: ether <port\_list> cannot be force up.Because ether <port\_list> is still link up.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** リンクダウンリレー閉塞解除機能により、物理ポートの閉塞状態がリンクアップ状態(閉塞状態への移行中) のため解除できなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_list> リンクダウンリレー閉塞解除機能により閉塞状態が解除できなかった

ether ポート番号リスト

### 1.5.13. IPv6 アドレス重複検出

**【メッセージ】** protocol: duplicate IPv6 address <address> detected in <interface>.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 接続ネットワークでIPv6 アドレスの重複を検出したため、このアドレスが利用できないことを示します。

**【パラメタの意味】** <interface> IPv6 アドレス重複を検出したインターフェースを示します。

<address> 重複を検出した本装置のIPv6 アドレスを示します。

### 1.5.14. リダイレクト経路数超過

**【メッセージ】** protocol: ICMP6 redirect rejected. Redirect route overflow.(route=<route> target=<next\_hop> src=<address>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** IPv6 リダイレクト経路のエントリ数が最大値に達しているため、新たにリダイレクト経路情報を破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】** <route> 破棄したリダイレクト経路情報

<next\_hop> 破棄したリダイレクト経路の中継ルータIPv6 アドレス

<address> 破棄したリダイレクト経路の送信元IPv6 アドレス

### 1.5.15. SFP+ モジュールの取り付け

**【メッセージ】** axelctl: ether <port\_num> module inserted

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** SFP+ モジュールが取り付けられたことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_num> ether ポート番号

### 1.5.16. SFP+ モジュールの取り外し

**【メッセージ】** axelctl: ether <port\_num> module removed

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** SFP+ モジュールが取り外されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_num> ether ポート番号

### 1.5.17. e-Keying による物理ポートの有効化

**【メッセージ】** axelctl: ether <port\_num> e-Keying enabled

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** MMB からの e-Keying 指示によって物理ポートが有効化されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_num> ether ポート番号

### 1.5.18. e-Keying による物理ポートの無効化

**【メッセージ】** axelctl: ether <port\_num> e-Keying disabled

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** MMB からの e-Keying 指示によって物理ポートが無効化されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_num> ether ポート番号

## 1.6 フィルタ・QoS 関連のメッセージ

### 1.6.1. スイッチドライバへの設定失敗

**【メッセージ】** <component>: driver can't <action> of <unit><number> (<error>)

**【プライオリティ】** LOG\_ERROR

**【意味】** スイッチドライバへの設定が失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <component> 出力コンポーネント名

\_protocol  
\_enabled

<action> スイッチドライバへ要求した設定の内容

<unit> スイッチドライバへの設定が失敗した単位

\_ether ether ポートでの設定失敗であることを示します

\_<number> 設定失敗した<unit>の番号

<error> 失敗した要因コード

**【メッセージ】** <component>: driver can't install a protocol vlan entry of vlan-id <vlan\_id>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** スイッチドライバへのprotocol vlanフィルタ設定が失敗したことを示す。

**【パラメタの意味】** <component> 出力コンポーネント名

protocol  
<vlan\_id> 設定失敗した VLAN ID

### 1.6.2. 出力キュー未割り当て

**【メッセージ】** <component>:<definition> invalid. queue <name> is not assigned

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 該当出力キューがプライオリティにアサインされていないため、そのMACフィルタまたはQoS 設定ができなかったことを示します。 qos cosmap コマンドで該当出力キューをプライオリティにアサインしてください。

**【パラメタの意味】** <component> 出力コンポーネント名

\_protocol  
\_enabled

<definition> 適用要求のあったフィルタ・QoS 定義

\_ether <ether> qos aclmap <count> acl <acl>

\_ether <ether> ip6qos aclmap <count> acl <acl>

\_vlan <vid> qos aclmap <count> acl <acl>

\_vlan <vid> ip6qos aclmap <count> acl <acl>

<ether> 適用失敗したether ポート番号

<vid> 適用失敗したVLAN ID

<count> 適用失敗した定義の優先順位

<count>以降のフィルタ・QoS 定義も適用を試みます。

<acl> acl 定義番号

## 1.7 セキュリティメッセージ

### 1.7.1. アプリケーションフィルタによるパケット破棄

**【メッセージ】** protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <SA> -> <DA>

**【プライオリティ】** LOG\_NOTICE

**【意味】** アプリケーションフィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <name> サーバ機能名

<no> フィルタリング定義番号

破棄を行ったアプリケーションフィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当せず、デフォルト定義に従って破棄を行った場合、" default "と出力されます。

<SA> 送信元アドレス

<DA> あて先アドレス

## 1.8 コンソールのメッセージ

### 1.8.1. ログイン成功

**【メッセージ】** logon: login <user> as <class> on console <line\_number>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** コンソールで正常にログインできた場合に出力されます。

**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名

<class> ログインクラス

admin 管理者クラス

user 一般ユーザクラス

<line\_number> ログイン回線番号

### 1.8.2. ログイン失敗(認証エラー)

**【メッセージ】** logon: failed login <user> on console <line\_number>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** コンソールでログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかつた場合に出力されます。

**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名

<line\_number> ログイン回線番号

### 1.8.3. ログイン終了

**【メッセージ】** logon: exit <user> as <class> on console <line\_number> [(<reason>)]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** コンソールでexit した場合に出力されます。consoleinfo autologout コマンドの設定により強制exit された場合にも出力されます。

**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名

<class> ログインクラス

admin 管理者クラス

user 一般ユーザクラス

<line\_number> ログイン回線番号

<reason>

なし exit コマンド実行によるログアウト

autologout 無操作監視による強制ログアウト

clear clear lineコマンドによる強制ログアウト

reset resetコマンドによる強制ログアウト

## 1.9 telnet デーモンのメッセージ

### 1.9.1. ログイン成功

**【メッセージ】** telnetd: login <user> as <class> on vty <line\_number> from <address>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** telnet で正常にログインできた場合に出力されます。

**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名

<class> ログインクラス

admin 管理者クラス

user 一般ユーザクラス

<line\_number> ログイン回線番号

<address> telnet 接続元アドレス

### 1.9.2. ログイン失敗(認証エラー)

**【メッセージ】** telnetd: failed login <user> on vty <line\_number> from <address>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** telnet でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名  
                   <line\_number> ログイン回線番号  
                   <address>  
                   telnet 接続元アドレス

### 1.9.3. ログイン終了

**【メッセージ】** telnetd: exit <user> as <class> on vty <line\_number> from <address> [(<reason>)]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** telnet でexit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制exit された場合にも出力されます。

**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名  
                   <class> ログインクラス  
                   admin 管理者クラス  
                   user 一般ユーザクラス  
                   <line\_number> ログイン回線番号  
                   <address>  
                   telnet 接続元アドレス  
                   <reason>  
                   なし exit コマンド実行によるログアウト  
                   autologout 無操作監視による強制ログアウト  
                   clear clear lineコマンドによる強制ログアウト  
                   reset resetコマンドによる強制ログアウト

## 1.10 ftp デーモンのメッセージ

### 1.10.1. ログイン成功

**【メッセージ】** ftpd: login <user> as <class> on ftp <line\_number> from <address>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ftp で正常にログインできた場合に出力されます。

**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名  
                   <class> ログインクラス  
                   admin 管理者クラス  
                   <line\_number> ログイン回線番号  
                   <address> クライアントのIP アドレス

### 1.10.2. ログイン失敗(認証エラー)

**【メッセージ】** ftpd: failed login <user> on ftp <line\_number> from <address>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ftp でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に  
出力されます。

**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名

<line\_number> ログイン回線番号

<address> クライアントのIP アドレス

### 1.10.3. ファイル蓄積完了

**【メッセージ】** ftpd: <filename> Write complete

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ファイル蓄積(クライアントからのput) によりROM が上書きされたことを示しま  
す。

**【パラメタの意味】** <filename> 上書きされたファイル名

### 1.10.4. ファイル回収完了

**【メッセージ】** ftpd: <filename> Read complete

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ファイル回収(クライアントからのget) によりROM が読み出されたことを示しま  
す。

**【パラメタの意味】** <filename> 読み出されたファイル名

### 1.10.5. ログイン終了

**【メッセージ】** ftpd: exit <user> as <class> on ftp <line\_number> from <address> [<reason>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ftp でのログインを終了した場合に出力されます。

15 分間無操作状態が続いて自動切断により強制exit された場合にも出力されます。

**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名

<class> ログインクラス

admin 管理者クラス

<line\_number> ログイン回線番号

<address> クライアントのIP アドレス

<reason>

なし exit コマンド実行によるログアウト

autologout 無操作監視による強制ログアウト

clear clear lineコマンドによる強制ログアウト  
reset resetコマンドによる強制ログアウト

## 1.11 ssh デーモンのメッセージ

### 1.11.1. ssh ホスト認証鍵生成開始

**【メッセージ】** sshd: generating public/private host key pair.  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** 本装置のssh ホスト認証鍵の生成を開始した場合に出力されます。

### 1.11.2. ssh ホスト認証鍵生成完了

**【メッセージ】** sshd: generated public/private host key pair.  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** 本装置のssh ホスト認証鍵の生成を完了した場合に出力されます。本メッセージ出力後にssh 接続できるようになります。

### 1.11.3. ログイン失敗(認証エラー)

**【メッセージ】** sshsvr<thread\_no>: failed login <user> on ssh/sftp <line\_number> from <address>  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** ssh またはsftp でユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。  
**【パラメタの意味】** <thread\_no> スレッド番号  
<user> ログインユーザ名  
<line\_number> ログイン回線番号  
<address> クライアントのIP アドレス

## 1.12 ssh ログインデーモンのメッセージ

### 1.12.1. ログイン成功

**【メッセージ】** sshlogin<thread\_no>: login <user> as <class> on ssh <line\_number> from <address>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ssh で正常にログインできた場合に出力されます。

**【パラメタの意味】**

- <thread\_no> スレッド番号
- <user> ログインユーザ名
- <class> ログインクラス
- admin 管理者クラス
- user 一般ユーザクラス
- <line\_number> ログイン回線番号
- <address> クライアントのIP アドレス

### 1.12.2. ログイン失敗(認証エラー)

**【メッセージ】** sshlogin<thread\_no>: failed login <user> on ssh <line\_number> from <address>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ssh でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

**【パラメタの意味】**

- <thread\_no> スレッド番号
- <user> ログインユーザ名
- <line\_number> ログイン回線番号
- <address> クライアントのIP アドレス

### 1.12.3. ログイン終了

**【メッセージ】** sshlogin<thread\_no>: exit <user> as <class> on ssh <line\_number> from <address>  
[(<reason>)]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ssh でexit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制exitされた場合にも出力されます。

**【パラメタの意味】**

- <thread\_no> スレッド番号
- <user> ログインユーザ名
- <class> ログインクラス
- admin 管理者クラス
- user 一般ユーザクラス
- <line\_number> ログイン回線番号
- <address> クライアントのIP アドレス
- <reason>

なし exit コマンド実行によるログアウト  
 autologout 無操作監視による強制ログアウト  
 clear clear lineコマンドによる強制ログアウト  
 reset resetコマンドによる強制ログアウト

## 1.13 sftp デーモンのメッセージ

### 1.13.1. ログイン成功

**【メッセージ】** sftpd: login <user> as <class> on sftp <line\_number> from <address>  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** sftp で正常にログインできた場合に出力されます。  
**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名  
 <class> ログインクラス  
 admin 管理者クラス  
 <line\_number> ログイン回線番号  
 <address> クライアントのIP アドレス

### 1.13.2. ログイン失敗(認証エラー)

**【メッセージ】** sftpd: failed login <user> on sftp <line\_number> from <address>  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** sftp でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。  
**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名  
 <line\_number> ログイン回線番号  
 <address> クライアントのIP アドレス

### 1.13.3. ファイル蓄積完了

**【メッセージ】** sftpd: <filename> Write complete  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** ファイル蓄積(クライアントからのput) によりROM が上書きされたことを示します。  
**【パラメタの意味】** <filename> 上書きされたファイル名

### 1.13.4. ファイル回収完了

**【メッセージ】** sftpd: <filename> Read complete

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ファイル回収(クライアントからのget) によりROM が読み出されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <filename> 読み出されたファイル名

### 1.13.5. ログイン終了

**【メッセージ】** sftpd: exit <user> as <class> on sftp <line\_number> from <address> [(<reason>)]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** sftp でのログインを終了した場合に出力されます。15 分間無操作状態が続いて自動切断により強制exit された場合にも出力されます。

**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名

<class> ログインクラス

admin 管理者クラス

<line\_number> ログイン回線番号

<address> クライアントのIP アドレス

<reason>

なし exit コマンド実行によるログアウト

autologout 無操作監視による強制ログアウト

clear clear lineコマンドによる強制ログアウト

reset resetコマンドによる強制ログアウト

## 1.14 http のメッセージ

### 1.14.1. ログイン成功

**【メッセージ】** httpd: login <user> as <class> on http <line\_number> from <address>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** http で正常にログインできた場合に出力されます。

**【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名

<class> ログインクラス

admin 管理者クラス

user 一般ユーザクラス

<line\_number> ログイン回線番号

<address> http 接続元アドレス

### 1.14.2. ログイン失敗(認証エラー)

- 【メッセージ】** httpd: failed login <user> on http <line\_number> from <address>
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** http でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。
- 【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名  
                   <line\_number> ログイン回線番号  
                   <address> http 接続元アドレス

### 1.14.3. ログイン終了

- 【メッセージ】** httpd: exit <user> as <class> on http <line\_number> from <address> [<reason>]
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** http でexit した場合に出力されます。時間制限による自動切断により強制exit された場合にも出力されます。
- 【パラメタの意味】** <user> ログインユーザ名  
                   <class> ログインクラス  
                   admin 管理者クラス  
                   user 一般ユーザクラス  
                   <line\_number> ログイン回線番号  
                   <address> http 接続元アドレス  
                   <reason>  
                   なし exit コマンド実行によるログアウト  
                   autologout 無操作監視による強制ログアウト  
                   clear clear lineコマンドによる強制ログアウト  
                   reset resetコマンドによる強制ログアウト

### 1.14.4. SSL接続失敗

- 【メッセージ】** sslproxy: SSL/TLS handshake failed. <src\_addr:port> -> <dst\_addr:port>
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** HTTPSの通信において、SSLハンドシェイクに失敗したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <src\_addr:port> SSLコネクションの自側IPアドレス : ポート番号  
                   <dst\_addr:port> SSLコネクションの相手側IPアドレス : ポート番号

## 1.15 enable のメッセージ

### 1.15.1. enable 成功

**【メッセージ】** <name>: admin: authentication to <user> succeeded on <apl\_name> <line\_number>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** enable コマンドで認証に成功し、正常に管理者クラスに移行できた場合に出力されます。

**【パラメタの意味】** <name> enable コマンドを実行したプログラム  
 telexec0～3 telnet でenable コマンドを実行した  
 sshexec ssh でenable コマンドを実行した  
 cmdexec コンソールでenable コマンドを実行した  
 <user> ログイン管理者クラスのユーザ名  
 <apl\_name> enable コマンドを実行したアプリケーション名  
 vty0～3 telnet でenable コマンドを実行した  
 ssh ssh でenable コマンドを実行した  
 console コンソールでenable コマンドを実行した  
 <line\_number> ログイン回線番号

### 1.15.2. enable 失敗(認証エラー)

**【メッセージ】** <name>: admin: authentication to <user> failed on <apl\_name> <line\_number>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** enable コマンドで認証に失敗し、管理者クラスに移行できなかった場合に出力されます。

**【パラメタの意味】** <name> enable コマンドを実行したプログラム  
 telexec0～3 telnet でenable コマンドを実行した  
 sshexec ssh でenable コマンドを実行した  
 cmdexec コンソールでenable コマンドを実行した  
 <user> ログイン管理者クラスのユーザ名  
 <apl\_name> enable コマンドを実行したアプリケーション名  
 vty0～3 telnet でenable コマンドを実行した  
 ssh ssh でenable コマンドを実行した  
 console コンソールでenable コマンドを実行した  
 <line\_number> ログイン回線番号

### 1.15.3. enable 終了

**【メッセージ】** <name>: admin: exit <user> on <apl\_name> <line\_number>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** enable コマンドで管理者クラスに移行していた状態から一般ユーザクラスに復帰した場合に表示されます。

**【パラメタの意味】** <name> enable コマンドを実行したプログラム  
 telexec0～3 telnet でenable コマンドを実行した  
 sshexec ssh でenable コマンドを実行した  
 cmdexec コンソールでenable コマンドを実行した  
 <user> ログイン管理者クラスのユーザ名  
 <apl\_name> enable コマンドを実行したアプリケーション名  
 vty0～3 telnet でenable コマンドを実行した  
 ssh ssh でenable コマンドを実行した  
 console コンソールでenable コマンドを実行した  
 <line\_number> ログイン回線番号

## 1.16 SNMP のメッセージ

### 1.16.1. SNMP 認証失敗

**【メッセージ】** snmpd: authentication failed. from <address> [<name>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 許可のないSNMP ホストからのアクセスがあったことを示します。

**【パラメタの意味】** <address> SNMP 認証失敗の原因となったIP アドレス  
 <name> SNMP 認証に使用されたコミュニティ名(SNMPv1/SNMPv2c 時) またはユーザ名(SNMPv3 時)

## 1.17 DHCP クライアントのメッセージ

### 1.17.1. IPアドレス獲得成功

**【メッセージ】** dhcpd: Client received DHCPACK [<IP address>] [lan<no>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** DHCP サーバから DHCPACK を受信し、正常に IP アドレスを受け取ったことを示します。

**【パラメタの意味】** <IP address> DHCP サーバから割り当てられた IP アドレス  
 <no> 受信 LAN 定義番号

### 1.17.2. リース更新成功

**【メッセージ】** dhcpd: DHCPACK contains different 'your' IP address. reconfigure to new address

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** リース更新で DHCP サーバから DHCPACK を受信したが、現在使用中の IP アドレスと異なるアドレスが割り当てられたため新しいアドレスに再構成し直します。

### 1.17.3. リース更新失敗1

**【メッセージ】** dhcpd: Received DHCPNAK(RENEWING). lan<no> go to INIT state

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** リース更新中(RENEWING 状態)に DHCP サーバから DHCPNAK を受信したため、INIT 状態に遷移し LAN インタフェースを再初期化します。

**【パラメタの意味】** <no> 受信 LAN 定義番号

### 1.17.4. リース更新失敗2

**【メッセージ】** dhcpd: Received DHCPNAK(REBINDING). lan<no> go to INIT state

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** リース更新中(REBINDING 状態)に DHCP サーバから DHCPNAK を受信したため、INIT 状態に遷移し LAN インタフェースを再初期化します。

**【パラメタの意味】** <no> 受信 LAN 定義番号

### 1.17.5. リース期間満了

**【メッセージ】** dhcpc: The lease time expired. [lan<no>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** リース期間が満了したことを示します。

**【パラメタの意味】** <no> 受信 LAN 定義番号

### 1.17.6. IPアドレスの割り当て

**【メッセージ】** nsm: <address> was assigned to <interface> from <protocol>.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** IPv4 DHCPサーバから獲得したIPアドレスをインターフェースに割り当てたことを示します。

**【パラメタの意味】**

- <address> IPアドレス
- <interface> インタフェース名
- <protocol> プロトコル種別

### 1.17.7. IPアドレスの重複

**【メッセージ】** nsm: <address> cannot be assigned to <interface> from <protocol>, because duplicated.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** IPv4 DHCPサーバから獲得したネットワークアドレスが重複しているため、インターフェースに割り当てることができなかったことを示します。

**【パラメタの意味】**

- <address> IPアドレス
- <interface> インタフェース名
- <protocol> プロトコル種別

### 1.17.8. デフォルトスタティック経路の重複

**【メッセージ】** nsm: This route cannot be added because the distance is contradictory. <route> from <protocol>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** デフォルトルートが既に存在していたため、新たなデフォルトルートを破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】**

- <route> 破棄した経路情報(0.0.0.0/0:デフォルトルート)
- <protocol> プロトコル種別

### 1.17.9. スタティックエントリ数オーバフロー

**【メッセージ】** nsm: This route cannot be added because the number of static routes has reached maximum. <route> from <protocol>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** スタティック経路を追加しようとした場合に、スタティック経路のエントリ数が最大値に達していたため破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】**

- <route> 破棄した経路情報(0.0.0.0/0:デフォルトルート)
- <protocol> プロトコル種別

## 1.18 ブリッジ／STP のメッセージ

### 1.18.1. 異常BPDU フレーム受信

**【メッセージ】** mstpd: Invalid BPDU received on port <port\_no>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** フレーム長異常やサポート範囲外のBPDU バージョンのフレームを受信して破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_no> 受信したポート番号(1～) を示します。

### 1.18.2. 無効BPDU フレーム受信

**【メッセージ】** mstpd: Could not validate BPDU version(<type>) on port <port\_no>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** STP 動作モードと一致しないBPDU フレームを受信して破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】** <version> 受信したBPDU タイプの値

<port\_no> 受信したポート番号(1～) を示します。

### 1.18.3. ポート情報作成失敗(内部情報作成時)

**【メッセージ】** mstpd: Cannot add port(<port>) to br(<bridge>) in <action>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** STP ポート情報の追加に失敗し、ポート情報が作られなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port> ポート名(ethxx)

<bridge> ブリッジ名

<action> 作成失敗時の動作

### 1.18.4. ポート情報作成異常(インスタンス情報追加時)

**【メッセージ】** mstpd: Cannot add port(<port>) to instance <instance\_id> (<info>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** MSTP 使用時にインスタンス用ポート情報の追加に失敗し、ポート情報が作られなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port> ポート名(ethxx)

<instance\_id> インスタンス番号

<info> 異常時内部情報

### 1.18.5. インスタンス情報へのVLAN 追加異常

**【メッセージ】** mstpd: Cannot add vlan <vid> to instance <instance\_id> : absent in common instance  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** MSTP 使用時にインスタンス情報へのVLAN 追加が異常となり、インスタンス情報が作られなかったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <vid> VID  
 <instance\_id> インスタンス番号

### 1.18.6. BPDU 転送モード設定異常

**【メッセージ】** mstpd: Cannot set BPDU Forwarding mode on port(<port\_no>)  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** BPDU 転送モード設定がポートに対して行えなかったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <port\_no> 設定が行えなかったポート番号(1～) を示します。

### 1.18.7. 定義反映異常(STP 動作モード)

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Cannot disable MSTP for bridge  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** STP 動作モード(STP 無効時) の定義反映が異常となったことを示します。

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Cannot enable MSTP for bridge  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** STP 動作モード(STP 有効時) の定義反映が異常となったことを示します。

### 1.18.8. 定義反映異常(stp age)

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Cannot set max-age(<max\_age>)  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** 最大有効時間の定義反映が異常となったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <max\_age> 設定しようとした最大有効時間

### 1.18.9. 定義反映異常(stp delay)

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Cannot set forward-time(<delay\_time>)  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** 最大中継遅延時間の定義反映が異常となったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <delay\_time> 設定しようとした最大中継遅延時間

### 1.18.10. 定義反映異常(stp hello)

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Cannot set hello-time(<hello>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 構成BPDU の送信間隔の定義反映が異常となったことを示します。

**【パラメタの意味】** <hello> 設定しようとした送信間隔

### 1.18.11. 定義反映異常(stp domain priority)

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Cannot set priority(<priority>) on instance (<instance\_type>:<instance\_id>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** インスタンス番号で指定されたブリッジ優先度の定義反映が異常となったことを示します。

**【パラメタの意味】** <priority> 設定しようとしたブリッジ優先度  
 <instance\_type> 設定しようとしたインスタンスタイプ  
 <instance\_id> 設定しようとしたインスタンス番号

### 1.18.12. 定義反映異常(stp config\_id)

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Cannot set region

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** MST 構成情報のリージョン名が設定されなかったことを示します。

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Cannot set revision-level(<level>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** MST 構成情報のリビジョンレベルが設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <level> 設定しようとしたリビジョンレベル

### 1.18.13. 定義反映異常(stp max-hops)

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Cannot set max-hops(<hop>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 最大ホップカウントの定義反映が異常になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <hop> 設定しようとした最大ホップカウント

### 1.18.14. 定義反映異常(ether stp)

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Cannot set path cost for port <port>  
(instance=<instance\_type>:<instance\_id>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** <port>へのパスコスト設定が異常になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port> ポート名(ethxx)  
<instance\_type> 設定しようとしたインスタンスタイプ  
<instance\_id> 設定しようとしたインスタンス番号

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Cannot set priority for port <port>  
(instance=<instance\_type>:<instance\_id>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** <port>へのポート優先度設定が異常になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port> ポート名(ethxx)  
<instance\_type> 設定しようとしたインスタンスタイプ  
<instance\_id> 設定しようとしたインスタンス番号

**【メッセージ】** mstpd: [CONFIG]: Cannot create interface(<port>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** <port>に関連したインターフェース情報生成が異常になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port> ポート名(ethxx)

### 1.18.15. 内部通信ソケット異常

**【メッセージ】** mstpd: Error opening socket (<err>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** MSTPD で使用するソケット生成が異常になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <err> エラー番号

### 1.18.16. 構成定義展開異常

**【メッセージ】** mstpd: Error mstpd configuration

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 起動時の構成定義展開処理が異常になったことを示します。

### 1.18.17. STP ポート情報異常

**【メッセージ】** mstpd: Incorrect info type value received <info>  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** RSTP/MSTP 使用時のポート情報が不正であるため、ポートの役割が正しく決定しなかったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <info> 内部情報

### 1.18.18. 未サポートメッセージ受信

**【メッセージ】** mstpd: Unknown msg\_type received for port <port> - <type>  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** L2NSM からMSTP が未サポートのメッセージを受信して破棄したことを示します。  
**【パラメタの意味】** <port> ポート名(ethxx)  
 <type> 受信メッセージタイプ値

### 1.18.19. STP 内部情報領域獲得異常

**【メッセージ】** mstpd: Could not allocate memory for <resource>  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** STP 内部情報で使用する資源の獲得が異常となったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <resource> 獲得できなかった資源情報

### 1.18.20. トポロジチェンジ検出

**【メッセージ】** mstpd: Topology Change detected  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** トポロジの変更が検出されたことを示します。

### 1.18.21. ルートブリッジ

**【メッセージ】** mstpd: Bridge became new Root Bridge  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** 装置がルートブリッジになったことを示します。

### 1.18.22. インスタンスのトポロジチェンジ検出

- 【メッセージ】** mstpd: Topology Change detected(instance:<instance\_id> last-port: <port\_no> all-ports:<port\_list>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** <instance\_id>で示すインスタンスでトポロジの変更が検出されたことを示します。
- 【パラメタの意味】** <instance\_id> トポロジ検出したインスタンス番号  
 <port\_no> トポロジ検出時に最後に状態変更したポート番号  
 <port\_list> 本トポロジ検出時に状態変更したほかのポート番号リスト

### 1.18.23. インスタンスのルートブリッジ

- 【メッセージ】** mstpd: Bridge became new Root Bridge(instance:<instance\_id>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** <instance\_id>で示すインスタンスで装置がルートブリッジになったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <instance\_id> ルートブリッジになったインスタンス番号

### 1.18.24. トポロジチェンジ検出ポート情報

- 【メッセージ】** mstpd: Topology Change port information(<instance\_type> lastport:<port\_no> all-ports:<port\_list>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** トポロジの変更が検出されたポート情報を示します。
- 【パラメタの意味】** <instance\_type> トポロジ検出を行ったインスタンスタイプ  
 <port\_no> トポロジ検出時に最後に状態変更したポート番号  
 <port\_list> 本トポロジ検出時に状態変更をしたほかのポート番号リスト

## 1.19 ブロードキャスト／マルチキャストストーム制御メッセージ

### 1.19.1. 異常検出メッセージ

- 【メッセージ】** protocol: Reception of the <frame\_type> frame exceeded restriction.  
 <ether=<ether\_num>>
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 監視していた受信レートが閾値を超えたことを示します。
- 【パラメタの意味】** <frame\_type> 閾値を超えたフレーム種別  
 multicast/broadcast:  
 マルチキャストフレームまたは、ブロードキャストフレーム  
 broadcast:  
 ブロードキャストフレーム  
 <ether\_num> ether ポート番号

## 1.19.2. 復旧検出メッセージ

**【メッセージ】** protocol: Reception of the <frame\_type> frame returned in restriction.

<ether=<ether\_num>>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 監視していた受信レートが閾値の範囲に復帰したことを示します。

**【パラメタの意味】** <frame\_type> 閾値範囲に復帰したフレーム種別

multicast/broadcast:

マルチキャストフレームまたは、ブロードキャストフレーム

broadcast:

ブロードキャストフレーム

<ether\_num> ether ポート番号

## 1.20 LLDP 関連のメッセージ

### 1.20.1. ether lldp mode

**【メッセージ】** l2nsm: [CONFIG] Link Layer Discovery and IEEE802.1Q tunneling can't use simultaneously (ether <ether\_num>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 同一ポートでLLDPとIEEE802.1qトンネリングが同時に設定されているため、該当ポートが無効となったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

### 1.20.2. 送信LLDPDU のオーバフロー

**【メッセージ】** llpd: ether <number> send LLDPDU size overflow.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** LLDP 情報が送信可能なフレーム長を超えたため、送信するLLDPDU にすべてのLLDP 情報を入れることができなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <number>

送信LLDPDU にすべてのLLDP 情報を入れることができなかったポートのポート番号

## 1.21 DCBXのメッセージ

### 1.21.1. DCBX control misc error

**【メッセージ】** dcbxd: a misc error occurs with DCBX control. (ether <ether\_num>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 受信DCBX-TLVのcontrol Sub-TLVでフォーマットエラー(サイズ異常等)を検出したことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

### 1.21.2. DCBX feature misc error

- 【メッセージ】** dcbxd: a misc error occurs with DCBX feature. (ether <ether\_num>) (feature <type\_num>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 受信DCBX-TLVのfeature Sub-TLVでフォーマットエラー(サイズ異常等)を検出したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号  
                   <type\_num> featureタイプ番号

### 1.21.3. DCBX multiple peers

- 【メッセージ】** dcbxd: multiple LLDP neighbors are detected on the same port. (ether <ether\_num>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** multiple LLDP neighborsを検出したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

### 1.21.4. DCBX LLDP TX disabled

- 【メッセージ】** dcbxd: the LLDP transmit has been disabled. (ether <ether\_num>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** CEE有効ポートでLLDP送信がdisable設定されているため、DCBXが無効になったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

### 1.21.5. DCBX LLDP RX disabled

- 【メッセージ】** dcbxd: the LLDP receive has been disabled. (ether <ether\_num>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** CEE有効ポートでLLDP受信がdisable設定されているため、DCBXが無効になったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

### 1.21.6. DCBX duplicate control TLV

- 【メッセージ】** dcbxd: a duplicate control Sub-TLV is detected. (ether <ether\_num>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 受信DCBX-TLVで複数のcontrol Sub-TLVを検出したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

### 1.21.7. DCBX duplicate feature TLV

- 【メッセージ】** dcbxd: a duplicate feature Sub-TLV is detected. (ether <ether\_num>) (feature <type\_num>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 受信DCBX-TLVで複数の同じfeature Sub-TLVを検出したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号  
<type\_num> featureタイプ番号

### 1.21.8. DCBX not supported feature

- 【メッセージ】** dcbxd: a feature is not supported. (ether <ether\_num>) (feature <type\_num>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 隣接装置では未サポートのfeatureが存在することを検出したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号  
<type\_num> featureタイプ番号

### 1.21.9. DCBX no response

- 【メッセージ】** dcbxd: the peer has stopped responding as evidenced by an LLDP timeout event. (ether <ether\_num>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** LLDPタイムアウトが発生したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

### 1.21.10. DCBX peer config mismatch

- 【メッセージ】** dcbxd: the configuration received from peer results into partial or complete mismatch. (ether <ether\_num>) (feature <type\_num>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 設定比較エラーが発生したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号  
<type\_num> featureタイプ番号

### 1.21.11. DCBX misc error

- 【メッセージ】** dcbxd: a misc error occurs with DCBX TLV.(ether <ether\_num>)(<info>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 受信DCBX-TLVの全体でフォーマットエラー(サイズ異常等)を検出したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号  
<info> 異常時内部情報

## 1.22 IEEE802.1Q トンネリングのメッセージ

### 1.22.1. ether dot1qtunnel use on

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> dot1qtunnel use on definition is ignored. ether <ether\_num> has no untagged port vlan definition.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** このether ポートには、タグなしVLAN IDが定義されていないためIEEE802.1Q トンネルポートが設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

**【メッセージ】** l2nsm: ether <ether\_num> dot1qtunnel use on definition is ignored. tagged port vlan defined already.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** このether ポートには、タグありVLAN IDが定義されているためIEEE802.1Q トンネルポートが設定されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

### 1.22.2. IEEE802.1q トンネリング(ミラーリング機能との競合)

**【メッセージ】** l2nsm: Mirroring and IEEE802.1Q tunneling cannot be defined at same time [ether <ether\_num>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 同一ポートでミラーリングとIEEE802.1Q トンネリングが同時に設定されているため、該当ポートが無効となったことを示します。

**【パラメタの意味】** <ether\_num> etherポート番号

## 1.23 認証関連のメッセージ

### 1.23.1. VLAN 登録失敗

**【メッセージ】** protocol: Specified vlan <vid> failed in the port <ether\_num> addition because of unregistration.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 認証機能によって、認証ポートへ割り当て指定されたVLAN が、装置に未登録の VLAN IDであるため、指定ポートへのVLAN 設定が失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <vid> 認証割り当てVLAN ID  
<ether\_num> ポート番号

- 【メッセージ】** protocol: Specified vlan <vid> failed in the port <ether\_num> addition because vid not change.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 認証機能によって、認証ポートへ割り当て指定されたVLAN が、認証前の状態で登録済みのVLAN IDと同一であるため、指定ポートへのVLAN 設定が失敗したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <vid> 認証割り当てVLAN ID  
<ether\_num> ポート番号
- 【メッセージ】** protocol: Specified authenticated mac <mac\_addr> failed in the port <ether\_num> addition. because there is no entry that registers this MAC address.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 認証端末のMACアドレスの登録がエントリ不足により失敗したため、認証端末の登録が設定されなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <mac\_addr> 認証される端末のMACアドレス  
<ether\_num> ポート番号

### 1.23.2. 最大認証端末数の超過

- 【メッセージ】** protocol: Specified authenticated mac <mac\_addr> failed in the port <ether\_num> addition. because the number of maximum entries was exceeded.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 認証端末数が最大数を超過したため、認証端末の登録が設定されなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <mac\_addr> 認証される端末のMACアドレス  
<ether\_num> ポート番号

## 1.24 IEEE802.1X 認証関連のメッセージ

### 1.24.1. IEEE802.1X 認証初期化失敗

- 【メッセージ】** authd: open\_supplicant: Error opening socket (<errno>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** IEEE802.1X 認証用のソケットの生成に失敗したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <errno> エラー番号

## 1.24.2. 認証成功

**【メッセージ】** authd: Supplicant is accepted on ether <port\_no> [<mac\_addr> user=<username>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** IEEE802.1X 認証による認証が成功したことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号

<mac\_addr> 認証される端末のMACアドレス

<username> ユーザ名

## 1.24.3. 認証失敗

**【メッセージ】** authd: Supplicant is denied on ether <port\_no> [<mac\_addr> user=<username>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** IEEE802.1X 認証により認証が拒否されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号

<mac\_addr> 認証される端末のMACアドレス

<username> ユーザ名

## 1.24.4. ユーザログオフ

**【メッセージ】** authd: Supplicant is logged-off on ether <port\_no> due to user request [<username>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ユーザからの要求によりログオフしたことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号

<username> ユーザ名

## 1.24.5. ユーザの強制ログオフ

**【メッセージ】** authd: Supplicant is logged-off on ether <port\_no> due to link error or reconfiguration

[<username>]

l2nsm: Supplicant is logged-off on ether <port\_no> due to link error or reconfiguration

[<username>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** リンク異常または構成定義変更によりユーザを強制的にログオフにしたことを示します。また、dot1xctl initialize コマンドによりポートが初期化された場合にも出力されます。

**【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号

<username> ユーザ名

### 1.24.6. VLAN 登録失敗

**【メッセージ】** authd: VLAN registration failed [ether <port\_no>,user=<username>,VLAN ID=<vlan\_id>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** AAA または認証サーバから通知されたVLAN ID と同一ID のポートが存在しないなどの理由により登録に失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号

<username> ユーザ名

<vlan\_id> AAA または認証サーバから通知されたVLAN ID

### 1.24.7. メモリ不足による課金開始または課金終了の失敗

**【メッセージ】** authd: accounting <request> request failed for <username>/<mac\_addr>(ether <port\_no>) on aaa <aaa\_gid>; memory allocation failed.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** メモリ不足により課金開始または課金終了要求の送信に失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <request> 課金要求の種別

start 課金開始要求

stop 課金終了要求

<port\_no> ポート番号

<username> ユーザ名

<mac\_addr> 認証される端末のMACアドレス

<aaa\_gid> AAAグループID

### 1.24.8. メモリ不足による認証失敗

**【メッセージ】** authd: authentication request failed for <username>/<mac\_addr>(ether <port\_no>) on aaa <aaa\_gid>; memory allocation failed.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** メモリ不足により認証が失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号

<username> ユーザ名

<mac\_addr> 認証される端末のMACアドレス

<aaa\_gid> AAAグループID

### 1.24.9. 認証サーバの通知メッセージ異常

- 【メッセージ】** authd: EAP packet cannot be found within RADIUS/AAA response [ether <port\_no>:mac=<mac\_addr>]
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 認証サーバ側の設定などの要因により、認証サーバから通知された応答にEAP パケットが含まれていなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号  
<mac\_addr> 認証される端末のMACアドレス

### 1.24.10. VLAN 情報なしによるデフォルトVLANへの割り当て

- 【メッセージ】** authd: no tunnel attribute is included [ether <port\_no>, user=<username>]
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 認証サーバからの認証成功通知の中にユーザに割り当てるVLAN 情報が含まれていなかったためにデフォルトVLAN で登録されたことを示します。
- 【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号  
<username> ユーザ名

### 1.24.11. 認証サーバからの通知情報異常によるデフォルトVLANへの割り当て

- 【メッセージ】** authd: illegal tunnel attribute is contained [ether <port\_no>,user=<username>]
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 認証サーバからの認証成功通知の中に含まれるVLAN 情報に不当なデータが検出されたためにデフォルトVLAN で登録されたことを示します。
- 【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号  
<username> ユーザ名

### 1.24.12. 認証再試行

- 【メッセージ】** authd: authentication is restarted on ether <port\_no> [cause=<cause>]
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** <cause>で示された要因により認証処理を再試行したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号  
<cause> 認証再試行の要因を示します。表示される要因には以下のものがあります。  
 \_EAPOL-start  
認証途中のEAPOL-start メッセージ受信  
 \_EAPOL-logoff  
認証途中のEAPOL-logoff メッセージ受信  
 \_supplicant timeout  
認証途中のサブリカントからのメッセージ受信タイムアウト発生

### 1.24.13.最大ID 長オーバー

- 【メッセージ】** authd: Identity Response is ignored on ether <port\_no> (too long user name)  
[user=<username>]
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 端末(Supplicant) から通知されたユーザ名がシステムで扱える最大長を超えたため、メッセージが無視されたことを示します。
- 【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号  
<username> ユーザ名

### 1.24.14.収容サプリカント数オーバー

- 【メッセージ】** authd: Supplicant is denied on ether <port\_no> because of over supplicant limit  
[<macaddr>]
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 収容可能な端末(Supplicant) を超えて認証の要求を受信したために、認証を拒否したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <port\_no> ポート番号  
<macaddr> 端末のMACアドレス

## 1.25 ether L3 監視機能のメッセージ

### 1.25.1. ether L3 監視(異常検出)

- 【メッセージ】** protocol: <port\_type> <num> icmpwatch host is down. <address>
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 監視先ノード、または接続回線に障害が発生し、異常が検出されたことを示します。
- 【パラメタの意味】** <port\_type> ポートの種別(ether、linkaggregation) を示します。  
<num> ポート種別がether の場合はether ポート番号、ポート種別がlinkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号を示します。  
<address> 監視先IP アドレスを示します。

## 1.26 IGMP スヌープ

### 1.26.1. マルチキャストエントリ登録失敗

**【メッセージ】** mstpd: cannot register the multicast group entry [<group\_addr>(<vlan\_id>)]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** マルチキャスト転送を制御するエントリの登録に失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_addr> 錄に失敗したグループアドレス

<vlan\_id> 錄に失敗したVLAN ID

### 1.26.2. マルチキャストエントリオーバフロー

**【メッセージ】** mstpd: cannot be registered due to limit over [<group\_addr>(<vlan\_id>)]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 登録可能なエントリ数を超えたためにマルチキャストエントリの登録に失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_addr> 登録に失敗したグループアドレス

<vlan\_id> 登録に失敗したVLAN ID

## 1.27 MLDスヌープ

### 1.27.1. マルチキャストエントリ登録失敗

**【メッセージ】** mstpd: cannot register the multicast group entry [<group\_addr>(<vlan\_id>)]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** マルチキャスト転送を制御するエントリの登録に失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_addr> 登録に失敗したグループアドレス

<vlan\_id> 登録に失敗したVLAN ID

### 1.27.2. マルチキャストエントリオーバフロー

**【メッセージ】** mstpd: cannot be registered due to limit over [<group\_addr>(<vlan\_id>)]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 登録可能なエントリ数を超えたためにマルチキャストエントリの登録に失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_addr> 登録に失敗したグループアドレス

<vlan\_id> 登録に失敗したVLAN ID

## 1.28 AAA/RADIUS のメッセージ

### 1.28.1. RADIUS アカウンティング情報の表示

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: <id>(<session\_id>) received service for <session\_time> seconds, received <input\_packets> packets(<input\_bytes> bytes), sent <output\_packets> packets(<out\_bytes> bytes).

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** RADIUS アカウンティング情報を示します。

**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名

<session\_id> 同一セッションを示す一意の識別子

<session\_time> セッション開始から終了までの時間

<input\_packets> アクセスユーザが受信したパケット数

<input\_bytes> アクセスユーザが受信したデータ量

<output\_packets> アクセスユーザが送信したパケット数

<output\_bytes> アクセスユーザが送信したデータ量

### 1.28.2. RADIUS 認証サーバ未応答

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group\_id>: no response received.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから認証結果が通知されなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名

<group\_id> AAAグループID

### 1.28.3. RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング開始時)

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group\_id>: no response received.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS アカウンティングサーバからアカウンティング開始の通知がされなかったことを示します。

**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名

<group\_id> AAAグループID

#### 1.28.4. RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング終了時)

- 【メッセージ】** aaa\_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group\_id>: no response received.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS アカウンティングサーバからアカウンティング終了の通知がされなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

#### 1.28.5. RADIUS 認証同時要求数オーバー

- 【メッセージ】** aaa\_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group\_id>: request too much.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RADIUS クライアントの認証要求に対して、同時要求数がRADIUSプロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。
- 【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

#### 1.28.6. RADIUS アカウンティング同時要求数オーバー(アカウンティング開始時)

- 【メッセージ】** aaa\_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group\_id>: request too much.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RADIUSクライアントのアカウンティング要求に対して、同時要求数がRADIUSプロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄しRADIUS サーバに送信しなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

#### 1.28.7. RADIUS アカウンティング同時要求数オーバー(アカウンティング終了時)

- 【メッセージ】** aaa\_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group\_id>: request too much.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RADIUSクライアントのアカウンティング要求に対して、同時要求数がRADIUSプロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄しRADIUSサーバに送信しなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

### 1.28.8. RADIUS 認証構成定義無効

- 【メッセージ】** aaa\_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group\_id>: invalid configuration.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。
- 【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

### 1.28.9. RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング開始時)

- 【メッセージ】** aaa\_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group\_id>: invalid configuration.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため要求を破棄しRADIUS サーバに送信しなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

### 1.28.10. RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング終了時)

- 【メッセージ】** aaa\_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group\_id>: invalid configuration.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため要求を破棄しRADIUS サーバに送信しなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

### 1.28.11. RADIUS 認証メモリ枯渉

- 【メッセージ】** aaa\_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group\_id>: memory allocation failed.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RADIUS クライアントの認証要求に対して、メモリが枯渉したため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。
- 【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

### 1.28.12.RADIUS アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング開始時)

- 【メッセージ】** aaa\_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group\_id>; memory allocation failed.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、メモリが枯渇したため要求を破棄しRADIUSサーバに送信しなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

### 1.28.13.RADIUS アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング終了時)

- 【メッセージ】** aaa\_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group\_id>; memory allocation failed.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、メモリが枯渇したため要求を破棄しRADIUSサーバに送信しなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

### 1.28.14.RADIUS 認証共有鍵不一致

- 【メッセージ】** aaa\_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group\_id>; bad authentication secret.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

### 1.28.15.RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング開始時)

- 【メッセージ】** aaa\_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group\_id>; bad accounting secret.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

### 1.28.16.RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング終了時)

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group\_id>; bad accounting secret.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<group\_id> AAAグループID

### 1.28.17.ローカル認証DB アカウンティング情報の表示

**【メッセージ】** aaad: <id>() received service for <session\_time> seconds, received <input\_packets> packets(<input\_bytes> bytes), sent <output\_packets> packets(<out\_bytes> bytes).

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ローカル認証DB のアカウンティング情報を示します。

**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
<session\_time> セッション開始から終了までの時間  
<input\_packets> アクセスユーザが受信したパケット数  
<input\_bytes> アクセスユーザが受信したデータ量  
<output\_packets> アクセスユーザが送信したパケット数  
<output\_bytes> アクセスユーザが送信したデータ量

### 1.28.18.Access-Challenge の受信

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: Access-Challenge not support (<id>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** RADIUS クライアントが本装置で未サポートのAccess-Challenge を受信したため、アクセスユーザの認証に失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名

### 1.28.19.Message-Authenticator 不適性

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: received Message-Authenticator have unmatched value (<id>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 受信したRADIUS パケットのMessage-Authenticator が一致しなかったため、受信パケットが改ざんされているものとして、破棄したことを意味します。

**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名

### 1.28.20. EAP-Message の破棄(Message-Authenticator 未添付)

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: received EAP-Message without Message-Authenticator (<id>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 受信したEAP-Message を含むRADIUS パケットに必須アトリビュートであるMessage-Authenticator属性が添付されていなかったため、受信パケットを破棄したことを意味します。

**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名

### 1.28.21. アトリビュート作成失敗(送信バッファオーバーフロー)

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: attribute <attr\_type> create failed. send buffer overflow for aaa group <group\_id> user id <id>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** RADIUS サーバからクライアントに送信するアクセスユーザのユーザ情報が大きすぎるため、送信パケットを破棄したことを意味します。RADIUS サーバは4096 バイト以上の認証結果をクライアントに通知できないため、アクセスユーザのユーザ情報に多数の経路情報を定義した場合などに、上記理由により送信パケットが破棄されることがあります。

**【パラメタの意味】** <attr\_type> オーバフローしたアトリビュートの属性値  
 <group\_id> AAAグループID  
 <id> アクセスユーザ名

### 1.28.22. 認証処理失敗(メモリ枯渇)

**【メッセージ】** aaad: cannot process due to no resource [mac=<mac\_addr>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** メモリ不足のため、認証要求が無視されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <mac\_addr> 認証要求が無視された端末のMACアドレス

### 1.28.23. 未サポートEAP オプション受信

**【メッセージ】** aaad: received option is not supported [option=<code>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 受信したEAP に未サポートのオプションが含まれていたことを示します。

**【パラメタの意味】** <code> 未サポートのオプションコード

### 1.28.24.認証アルゴリズム不一致

**【メッセージ】** aaad: desirable algorithm by supplicant is not MD5 [desired type=<algorithm>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 端末(Supplicant) からMD5 以外の認証アルゴリズムを要求されたために、認証が失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <algorithm> 端末(Supplicant) 側が要求したアルゴリズムコード

### 1.28.25.未サポートのパケット受信

**【メッセージ】** aaad: received unrecognized code packet [<code>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 未サポートパケットコードのEAP パケットを受信したことを示します。

**【パラメタの意味】** <code> 未サポートのパケットコード

### 1.28.26.パケットシーケンスエラー検出

**【メッセージ】** aaad: unexpected message received [type=<type>, host=<mac\_addr>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** パケットシーケンス異常を検出したことを示します。

**【パラメタの意味】** <type> パケットタイプ  
 <mac\_addr> 端末(Supplicant) のMACアドレス

### 1.28.27.メモリ枯渉による認証失敗

**【メッセージ】** aaad: cannot allocate memory to indicate about authentication result

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** メモリ枯渉により認証処理が失敗したことを示します。

### 1.28.28.RADIUS 認証取り消し

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group\_id>; authentication canceled.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** RADIUS クライアントの認証要求に対して、認証依頼元が認証要求を取り消したこと を示します。

**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
 <group\_id> AAAグループID

### 1.28.29.RADIUS 認証サーバダウン

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: radius authentication server <number> on aaa <group\_id> dead.  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** RADIUS 認証サーバがalive 状態からdead 状態になったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <group\_id> AAAグループID  
                   <number> 認証サーバ定義番号

### 1.28.30.RADIUS 認証サーバ復旧

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: radius authentication server <number> on aaa <group\_id> alive.  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** RADIUS 認証サーバがdead 状態からalive 状態になったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <group\_id> AAAグループID  
                   <number> 認証サーバ定義番号

### 1.28.31.RADIUS アカウントィングサーバダウン

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: radius accounting server <number> on aaa <group\_id> dead.  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** RADIUS アカウントィングサーバがalive 状態からdead 状態になったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <group\_id> AAAグループID  
                   <number> アカウントィングサーバ定義番号

### 1.28.32.RADIUS アカウントィングサーバ復旧

**【メッセージ】** aaa\_radiusd: radius accounting server <number> on aaa <group\_id> alive.  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** RADIUS アカウントィングサーバがdead 状態からalive 状態になったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <group\_id> AAAグループID  
                   <number> アカウントィングサーバ定義番号

### 1.28.33. アクセスユーザのゲストユーザとしての受け入れ

**【メッセージ】** aaad: authentication request failed for <id> on aaa <group\_id>: accept as guest.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** アクセスユーザの認証は失敗しましたが、ゲストとしてアクセスが許可されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名

<group\_id> AAAグループID

### 1.28.34. サーバダウン時認証成功

**【メッセージ】** aaad: radius authentication server dead for <id> on aaa <group\_id>: authentication request succeeded

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** RADIUS サーバがdead 状態で、アクセスが許可されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名

<group\_id> AAAグループID

## 1.29 AAA/TACACS+のメッセージ

### 1.29.1. TACACS+認証失敗

**【メッセージ】** aaa\_tacacsdp: authentication <number> request failed for <id> on aaa <group\_id>: <reason>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** TACACS+認証が失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <number> 認証サーバ定義番号

<id> アクセスユーザ名

<group\_id> AAAグループID

<reason>

失敗理由

connect failed.

TACACS+サーバとのTCP接続が失敗したことを示します。

disconnected by server.

TACACS+サーバからTCP接続を切断されたことを示します。

no reply received.

認証要求に対して、TACACS+サーバから認証結果が通知されなかったことを示します。

invalid reply packet.

認証要求に対して、TACACS+サーバからの応答が異常であったため応答を破棄したことを示します。このメッセージは応答パケットがデータの破壊や改竄、共有鍵不一致などにより、正常なパケットと判断できなかったことを示します。

## 1.29.2. TACACS+認可失敗

<b>【メッセージ】</b>	aaa_tacacsdp: authorization <number> request failed for <id> on aaa <group_id>: <reason>
<b>【プライオリティ】</b>	LOG_INFO
<b>【意味】</b>	TACACS+認可が失敗したことを示します。
<b>【パラメタの意味】</b>	<number> 認可サーバ定義番号 <id> アクセスユーザ名 <group_id> AAAグループID <reason> 失敗理由 connect failed. TACACS+サーバとのTCP接続が失敗したことを示します。 disconnected by server. TACACS+サーバからTCP接続を切断されたことを示します。 no response received. 認可要求に対して、TACACS+サーバから認可結果が通知されなかったことを示します。 invalid response packet. 認証可求に対して、TACACS+サーバからの応答が異常であったため応答を破棄したことを示します。 このメッセージは応答パケットがデータの破壊や改竄、共有鍵不一致などにより、正常なパケットと判断できなかったことを示します。

## 1.29.3. TACACS+認証応答メッセージ

<b>【メッセージ】</b>	aaa_tacacsdp: authentication <number> reply message for <id> on aaa <group_id>: status=<status> message=<message>
<b>【プライオリティ】</b>	LOG_INFO
<b>【意味】</b>	TACACS+クライアントの認証要求に対して、TACACS+サーバからの応答にメッセージが含まれている場合に表示されます。
<b>【パラメタの意味】</b>	<number> 認証サーバ定義番号 <id> アクセスユーザ名 <group_id> AAAグループID <status> 応答パケットのステータスを示します。以下のいずれかのステータスを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ERROR</li> <li>認証失敗。</li> <li>・ FOLLOW</li> </ul> 認証失敗。認証を代替のサーバで行うよう指定がある場合に示されます。 <message> TACACS+認証サーバからのメッセージ内容を表示します。

#### 1.29.4. TACACS+認証サーバダウン

**【メッセージ】** aaa\_tacacsdp: tacacs+ authentication <number> on aaa <group\_id> server dead.  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** TACACS+認証サーバがalive状態からdead状態になったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <number> 認証サーバ定義番号  
                   <group\_id> AAAグループID

#### 1.29.5. TACACS+認証サーバ復旧

**【メッセージ】** aaa\_tacacsdp: tacacs+ authentication <number> on aaa <group\_id> server alive.  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** TACACS+認証サーバがdead状態からalive状態になったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <number> 認証サーバ定義番号  
                   <group\_id> AAAグループID

#### 1.29.6. TACACS+認可サーバダウン

**【メッセージ】** aaa\_tacacsdp: tacacs+ authorization <number> on aaa <group\_id> server dead.  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** TACACS+認可サーバがalive状態からdead状態になったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <number> 認可サーバ定義番号  
                   <group\_id> AAAグループID

#### 1.29.7. TACACS+認可サーバ復旧

**【メッセージ】** aaa\_tacacsdp: tacacs+ authorization <number> on aaa <group\_id> server alive.  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** TACACS+認可サーバがdead状態からalive状態になったことを示します。  
**【パラメタの意味】** <number> 認可サーバ定義番号  
                   <group\_id> AAAグループID

#### 1.29.8. TACACS+認証サーバダウン時認証成功

**【メッセージ】** aaad: tacacs+ authentication server dead for <id> on aaa <group\_id>: authentication request succeeded  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** TACACS+認証サーバがdead状態で、アクセスが許可されたことを示します。  
**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
                   <group\_id> AAAグループID

## 1.29.9. TACACS+認可サーバダウン時認可成功

**【メッセージ】** aaad: tacacs+ authorization server dead for <id> on aaa <group\_id>; authorization request succeeded  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** TACACS+認可サーバがdead状態で、アクセスが許可されたことを示します。  
**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名  
 <group\_id> AAAグループID

## 1.30 AAA/LDAPのメッセージ

### 1.30.1. LDAP認証失敗

**【メッセージ】** aaa\_ldapd: authentication <number> request failed for <id> on aaa <group\_id>; <reason>  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** LDAP認証が失敗したことを示します。  
**【パラメタの意味】** <number> 認証サーバ定義番号  
 <id> アクセスユーザ名  
 <group\_id> AAAグループID  
 <reason> 失敗理由  
 connect failed.  
 LDAPサーバとのTCP接続が失敗したことを示します。  
 disconnected by server.  
 LDAPサーバからTCP接続を切断されたことを示します。  
 no reply received.  
 認証要求に対して、LDAPサーバから認証結果が通知されなかったことを示します。  
 invalid reply packet.  
 認証要求に対して、LDAPサーバからの応答が異常であったため応答を破棄したこと  
 を示します。このメッセージは応答パケットがデータの破壊や改竄などにより、正  
 常なパケットと判断できなかったことを示します。

### 1.30.2. LDAP認証応答メッセージ

**【メッセージ】** aaa\_ldapd: authentication <number> reply message for <id> on aaa <group\_id>;  
 result=<result> ErrMsg=<ErrMsg>  
**【プライオリティ】** LOG\_INFO  
**【意味】** LDAPクライアントの認証要求に対して、LDAPサーバからの応答にメッセージが含ま  
 れている場合に表示されます。  
**【パラメタの意味】** <number> 認証サーバ定義番号  
 <id> アクセスユーザ名  
 <group\_id> AAAグループID  
 <result> : result\_code(result\_desc)

応答パケットの認証結果を示します。以下のいずれかの認証失敗の結果を表示します。

<result_desc>	<result_code>
• operationsError	(1)
• protocolError	(2),
• timeLimitExceeded	(3),
• sizeLimitExceeded	(4),
• compareFalse	(5),
• compareTrue	(6),
• authMethodNotSupported	(7),
• strongerAuthRequired	(8),
• referral	(10),
• adminLimitExceeded	(11),
• unavailableCriticalExtension	(12),
• confidentialityRequired	(13),
• saslBindInProgress	(14),
• noSuchAttribute	(16),
• undefinedAttributeType	(17),
• inappropriateMatching	(18),
• constraintViolation	(19),
• attributeOrValueExists	(20),
• invalidAttributeSyntax	(21),
• noSuchObject	(32),
• aliasProblem	(33),
• invalidDNSyntax	(34),
• aliasDereferencingProblem	(36),
• inappropriateAuthentication	(48),
• invalidCredentials	(49),
• insufficientAccessRights	(50),
• busy	(51),
• unavailable	(52),
• unwillingToPerform	(53),
• loopDetect	(54),
• namingViolation	(64),
• objectClassViolation	(65),
• notAllowedOnNonLeaf	(66),
• notAllowedOnRDN	(67),
• entryAlreadyExists	(68),
• objectClassModsProhibited	(69),
• affectsMultipleDSAs	(71),

### 1.30.3. LDAP認証サーバダウン

**【メッセージ】** aaa\_ldapd: ldap authentication <number> on aaa <group\_id> server dead.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** LDAP認証サーバがalive状態からdead状態になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <number> 認証サーバ定義番号

<group\_id> AAAグループID

### 1.30.4. LDAP認証サーバ復旧

**【メッセージ】** aaa\_ldapd: ldap authentication <number> on aaa <group\_id> server alive.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** LDAP認証サーバがdead状態からalive状態になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <number> 認証サーバ定義番号

<group\_id> AAAグループID

### 1.30.5. LDAP認証サーバダウン時認証成功

**【メッセージ】** aaad: ldap authentication server dead for <id> on aaa <group\_id>: authentication request succeeded

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** LDAP認証サーバがdead状態で、アクセスが許可されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <id> アクセスユーザ名

<group\_id> AAAグループID

## 1.31 L2 ネットワークサービスのメッセージ

### 1.31.1. L2 ネットワークサービス起動異常

**【メッセージ】** l2nsm: Cannot initialize(<information>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** L2 ネットワークサービスの起動に失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】** <information> 起動失敗時の詳細情報

### 1.31.2. カーネル情報設定異常

**【メッセージ】** l2nsm: Cannot set kernel info(<error>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** カーネル情報の設定が異常のため、設定できずにL2 ネットワークサービスが停止したことを示します。

**【パラメタの意味】** <error> 異常の要因コード

### 1.31.3. 内部通信ソケット異常(汎用ソケット)

**【メッセージ】** l2nsm: Cannot open socket for generic(<error>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 内部通信で使用するソケット生成が異常のため、L2 ネットワークサービスが停止したことを示します。

**【パラメタの意味】** <error> 異常の要因コード

### 1.31.4. 内部通信ソケット受信異常(L2 ソケット異常)

**【メッセージ】** l2nsm: L2link socket could not received data(<error>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ポート状態の通知などに使用する内部通信ソケットの受信が、異常となったことを示します。

**【パラメタの意味】** <error> 異常の要因コード

### 1.31.5. 内部通信ソケット受信異常(汎用ソケット異常)

**【メッセージ】** l2nsm: Generic socket could not received data(<error>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 他モジュールからの通知受信に使用する内部通信ソケットの受信が、異常となったことを示します。

**【パラメタの意味】** <error> 異常の要因コード

### 1.31.6. ポート情報通知矛盾検出

**【メッセージ】** l2nsm: Interface(<port>) is not found in l2link event(<event>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 通知されたポート情報が、L2 ネットワークサービスのポート情報と矛盾しているため破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_no> 通知されたポート番号(1～) を示します。  
 <event> 通知された情報種別を示します。

### 1.31.7. 受信データ矛盾検出

**【メッセージ】** l2nsm: Generic socket received data, but invalid data(<reason>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 受信したデータとL2 ネットワークサービスの情報が矛盾しているため破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】** <reason> 破棄した理由を示します。

### 1.31.8. L2プロトコル同期異常

**【メッセージ】** l2nsm: L2 protocol sync mode is timed out in startup

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 起動時でのL2 ネットワークサービスと各L2 プロトコルとの同期処理がタイムアウトしたことを示します。

**【メッセージ】** l2nsm: L2 protocol sync mode is canceled in enable

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 起動時でのL2 ネットワークサービスと各L2 プロトコルとの同期処理が解除されたことを示します。

### 1.31.9. ダウン通知同期異常

**【メッセージ】** l2nsm: Down event is timed out in detach synchronous mode(<port\_info>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 定義変更時のポートダウン通知の同期処理がタイムアウトしたことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_info> 同期処理がタイムアウトになったポート情報

### 1.31.10. ポート活性化通知異常

**【メッセージ】** l2nsm: Cannot attach port(<port\_info>)[<error>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** カーネルに対するポート活性化通知が異常となったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_info> 活性化通知を行ったポート情報

<error> 通知異常の要因コードを示します。

### 1.31.11. ポート非活性化通知異常

**【メッセージ】** l2nsm: Cannot detach port(<port\_info>)[<error>]

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** カーネルに対するポート非活性化通知が異常となったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_info> 非活性化通知を行ったポート情報

<error> 通知異常の要因コードを示します。

### 1.31.12. 追加処理異常

**【メッセージ】** l2nsm: [CONFIG] Interface(<port\_no>) not bound(<error>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** ポート情報の定義反映が行えず、該当ポートでのL2 ネットワークサービスが無効になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <port\_no> 無効となったポート番号(1～) を示します。

<error> 設定異常の要因コードを示します。

**【メッセージ】** l2nsm: [CONFIG] Vlan[<vid>] add error(<mode>:<error>)

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** VLAN 情報の定義反映が行えず、該当VLAN でのL2 ネットワークサービスが無効になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <vid> VLAN ID を示します。

<mode> 動作モードを表します。

common 起動時、動的定義変更時動作

enable 動的定義変更時動作

<error> 設定異常の要因コードを示します。

- 【メッセージ】** l2nsm: [CONFIG] Cannot bind vlan[<vid>] to port[<port\_no>]
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** VLAN 情報のポートへの定義反映が行えず、該当ポート、該当VLAN でのL2 ネットワークサービスが無効になったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <vid> VLAN ID を示します。  
                   <port\_no> ポート番号(1～) を示します。
- 【メッセージ】** l2nsm: [CONFIG] Cannot add vlan[<vid>] to port[<port\_no>](<error>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** VLAN 情報のポートへの定義反映が行えず、該当ポート、該当VLAN でのL2 ネットワークサービスが無効になったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <vid> VLAN ID を示します。  
                   <port\_no> ポート番号(1～) を示します。  
                   <error> 設定異常の要因コードを示します。

### 1.31.13.削除処理異常

- 【メッセージ】** l2nsm: [CONFIG] Vlan[<vid>] delete error(<error>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** VLAN 情報の定義削除が行えず、該当VLAN でのL2 ネットワークサービスが継続されることを示します。
- 【パラメタの意味】** <vid> VLAN ID を示します。  
                   <error> 設定異常の要因コードを示します。
- 【メッセージ】** l2nsm: [CONFIG] Cannot unbind vlan[<vid>] to port[<port\_no>]
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** VLAN 情報のポートへの定義削除が行えず、該当ポート、該当VLAN でのL2 ネットワークサービスが継続することを示します。
- 【パラメタの意味】** <vid> VLAN ID を示します。  
                   <port\_no> ポート番号(1～) を示します。
- 【メッセージ】** l2nsm: [CONFIG] Cannot delete vlan[<vid>] to port[<port\_no>](<error>)
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** VLAN 情報のポートへの定義削除が行えず、該当ポート、該当VLAN でのL2 ネットワークサービスが継続することを示します。
- 【パラメタの意味】** <vid> VLAN ID を示します。  
                   <port\_no> ポート番号(1～) を示します。  
                   <error> 設定異常の要因コードを示します。

## 1.32 構成定義関連のメッセージ

### 1.32.1. TACACS+/RADIUS機能の併用無効

**【メッセージ】** aaa\_tacacsdp: aaa <group\_id> tacacs+ service is not available: radius service is available.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 同一グループ内でTACACS+クライアント機能とRADIUSクライアント機能を同時に設定したため、TACACS+クライアント機能が無効になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_id> AAAグループID

### 1.32.2. TACACS+認証機能無効

**【メッセージ】** aaa\_tacacsdp: aaa <group\_id> tacacs+ authentication is not available: lack of configuration. <reason>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** TACACS+認証の設定不足のためにTACACS+認証の設定が無効になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_id> AAAグループID  
<reason> 不足している定義命令

### 1.32.3. TACACS+認証相手側サーバ情報定義無効

**【メッセージ】** aaa\_tacacsdp: aaa <group\_id> tacacs+ authentication <number> is not available: <reason>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** TACACS+認証の相手側サーバ情報の設定が無効になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_id> AAAグループID  
<number> 認証サーバ定義番号  
<reason> 無効理由  
address family is contradicts.  
自側IPアドレスと相手側サーバIPアドレスに矛盾したアドレスファミリが設定されたことを示します。  
source is same address as server.  
自側IPアドレスと相手側サーバIPアドレスに同一のアドレスが設定されたことを示します。

### 1.32.4. TACACS+認可相手側サーバ情報定義無効

**【メッセージ】** aaa\_tacacsdp: aaa <group\_id> tacacs+ authorization <number> is not available: <reason>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** TACACS+認可の相手側サーバ情報の設定が無効になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_id> AAAグループID  
                   <number> 認可サーバ定義番号  
                   <reason> 無効理由  
                   address family is contradicts.  
                   自側IPアドレスと相手側サーバIPアドレスに矛盾したアドレスファミリが設定されたことを示します。  
                   source is same address as server.  
                   自側IPアドレスと相手側サーバIPアドレスに同一のアドレスが設定されたことを示します。

### 1.32.5. LDAP/RADIUS機能の併用無効

**【メッセージ】** aaa\_ldapd: aaa <group\_id> ldap service is not available: radius service is available.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 同一グループ内でLDAPクライアント機能とRADIUSクライアント機能を同時に設定したため、LDAPクライアント機能が無効になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_id> AAAグループID

### 1.32.6. LDAP/TACACS+機能の併用無効

**【メッセージ】** aaa\_ldapd: aaa <group\_id> ldap service is not available: tacacs+ service is available.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** 同一グループ内でLDAPクライアント機能とTACACS+クライアント機能を同時に設定したため、LDAPクライアント機能が無効になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_id> AAAグループID

### 1.32.7. LDAP認証機能無効

**【メッセージ】** aaa\_ldapd: aaa <group\_id> ldap authentication is not available: lack of configuration.  
                   <reason>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** LDAP認証の設定不足のためにLDAP認証の設定が無効になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_id> AAAグループID  
                   <reason> 不足している定義命令

### 1.32.8. LDAP認証相手側サーバ情報定義無効

**【メッセージ】** aaa\_ldapd: aaa <group\_id> ldap authentication <number> is not available: <reason>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** LDAP認証の相手側サーバ情報の設定が無効になったことを示します。

**【パラメタの意味】** <group\_id> AAAグループID

<number> 認証サーバ定義番号

<reason> 無効理由

address family is contradicts.

自側IPアドレスと相手側サーバIPアドレスに矛盾したアドレスファミリが設定されたことを示します。

source is same address as server.

自側IPアドレスと相手側サーバIPアドレスに同一のアドレスが設定されたことを示します。

## 1.33 IPv6 DHCP に関するメッセージ

### 1.33.1. IPv6アドレス獲得成功

**【メッセージ】** dhcp6cd: Received Reply address <address> <interface>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** IPv6 DHCPサーバからReplyを受信し、正常にIPv6アドレスを受け取ったことを示します。

**【パラメタの意味】** <address> IPv6 DHCPサーバから割り当てられたIPv6アドレス

<interface> インタフェース名

### 1.33.2. IPv6アドレスの割り当て

**【メッセージ】** nsm: <address>/64 was assigned to <interface> from DHCPclient.

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** IPv6 DHCPサーバから獲得したIPv6アドレスをインターフェースに割り当てたことを示します。

**【パラメタの意味】** <address> IPv6アドレス

<interface> インタフェース名

### 1.33.3. IPv6アドレスの重複

- 【メッセージ】** nsm: <address>/64 cannot be assigned to <interface> from DHCPclient, because duplicated.
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** IPv6 DHCPサーバから獲得したIPv6アドレスが重複しているため、インターフェースに割り当てることができなかったことを示します。
- 【パラメタの意味】** <address> IPv6アドレス  
                   <interface> インタフェース名

### 1.33.4. リース更新失敗1

- 【メッセージ】** dhcp6cd: Renewing failure. <interface> go to REBIND state
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** IPv6 DHCPサーバから獲得した情報のリース更新(RENEW)に失敗したため、REBIND 状態に遷移します。
- 【パラメタの意味】** <interface> インタフェース名

### 1.33.5. リース更新失敗2

- 【メッセージ】** dhcp6cd: Rebinding failure. <interface> go to INIT state
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** IPv6 DHCPサーバから獲得した情報のリース更新(REBIND)に失敗したため、INIT 状態に遷移します。
- 【パラメタの意味】** <interface> インタフェース名

## 1.34 その他のメッセージ

### 1.34.1. 動的定義反映実行

- 【メッセージ】** enabled: system configuration restarted
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 動的定義反映が実行されたことを示します。

### 1.34.2. 重複メッセージの省略

- 【メッセージ】** same message repeated <num> times
- 【プライオリティ】** LOG\_INFO
- 【意味】** 同じメッセージが繰り返されたので表示を省略したことを示します。
- 【パラメタの意味】** <num> 繰り返された回数

### 1.34.3. スケジュール機能による実行

**【メッセージ】** scheduled: schedule command "<command>" executed

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** スケジュール機能によりコマンドが実行されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <command> 実行されたコマンド

### 1.34.4. コマンド実行履歴

**【メッセージ】** <name>: command "<command>" executed by <user>

**【プライオリティ】** LOG\_INFO

**【意味】** コマンドが実行されたことを示します。

**【パラメタの意味】** <name> コマンドを実行したプログラム

telnetd telnet でコマンドを実行した

sshlogin ssh でコマンドを実行した

logon コンソールでコマンドを実行した

<command> 実行されたコマンド

<user> コマンドを実行したユーザ名